

事務事業名	県営基幹農道整備事業						所属部	産業観光部	所属課	農林土木課
施策名	02 人が行き交う道路・交通ネットワークづくり						所属担当	農林土木担当	課長名	内田 修
法令根拠	土地改良法						個別計画			
予算科目	会計	款	項	目	細目	細々目	事業期間	期間限定複数年度( H16年度～H29年度)		
	1	6	1	5	10	8				
○事務事業の概要および主な事業費の内訳										
・関連市町村の要望等を取りまとめて、県が計画・施工を進める高規格農道整備で、山間地域の優良農地間を結ぶ幹線農道の建設により、地域農産物の広域・高速出荷を可能とさせるもの。 ・市は事業費の1/6の負担金を支払う。 (東八中央東・釈迦堂)										
・主な事業費の内訳 負担金 24,000千円										

1 現状把握の部 (PLAN)(DO)

(1) 事務事業の目的と指標			
① 手段(主な活動)			
		← 実施計画期間 →	
27年度実績	28年度実施計画	29年度実施計画	30年度実施計画
<ul style="list-style-type: none"> <li>説明会の開催及び契約内容の理解を求めた。</li> <li>工事</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>説明会の開催及び契約内容の理解を求める。</li> <li>工事</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>説明会の開催及び契約内容の理解を求める。</li> <li>工事</li> </ul>	
② 対象 (誰、何を対象にしているのか)		指標名(数字は記入しない) 単位	
<ul style="list-style-type: none"> <li>関係地権者</li> <li>対象地区住民</li> </ul>		⑤ 活動指標 (事務事業の活動量を表す指標)	
		ア 県・関係地権者との調整・協議の回数	回
③ 意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		⑥ 対象指標 (対象の大きさを表す指標)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>高規格農道の整備が円滑にできるよう促す</li> <li>農業生産基盤を整備することにより、生産性の高い近代的農業の確立を図る</li> </ul>		イ 整備延長	km
④ 結果 (意図した結果、さらに何に反映させるか)		⑦ 成果指標 (事務事業の目的の達成度を表す指標)	
生産性が向上収益が増える。		ウ 地権者数	人
		⑧ 施策の成果指標 (施策の目的の達成度を表す指標)	
		エ 申告農家1戸当り農業収入	千円・t
		エ 農作物年間収穫量	千円・t

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	25年度実績	26年度実績	27年度(実績・見込)	28年度(計画・目標)	29年度(計画・目標)	30年度(計画・目標)	補助事業名
投入量	事業費	国庫支出金	千円						
		県支出金	千円						
		地方債	千円	2,400	3,900	22,800	35,000	20,000	
		その他	千円						
		一般財源	千円	169	266	1,200	0	0	
	事業費計(A)	千円	2,569	4,166	24,000	35,000	20,000	0	
人件費	正規職員延従事人数	人	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20		
	人件費計(B)	千円	1,327	1,372	1,372	1,372	1,372	0	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	3,896	5,538	25,372	36,372	21,372	0	
活動指標	ア	回	30	30	30	30	30		
対象指標	イ	km	40	40	40	40	40		
成果指標	ウ	人	100	100	100	100	100		
上位成果指標	エ	千円・t	3,900・47,000	3,900・47,000	3,900・47,000	3,900・47,000	3,900・47,000		

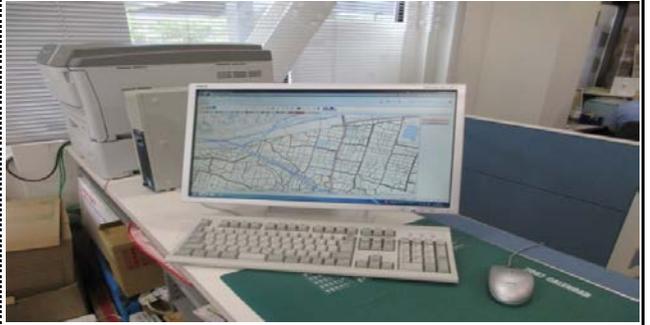
事務事業名	県営基幹農道整備事業
-------	------------

## 2 評価の部 (CHECK) \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

妥当性評価	① 対象・意図の妥当性 * 対象・意図は実態と合っているか？上位施策から見てどうか？  <input type="checkbox"/> 見直し余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 対象・意図ともに実態と合っている	⇒【理由】 地元から要望があった基幹農道の整備を行い農産物の流通をよくするためのものであるため実態とあっている。
	② 成果の向上余地 * 事業の成果実績、水準は、あるべき水準と比べて差異はないか？  <input checked="" type="checkbox"/> 成果の実績はあるべき水準に達していない <input type="checkbox"/> 成果の実績はあるべき水準とほぼ同じである	⇒【理由】 ・東八中央東地区 一部地権者との用地交渉が難航している。 ・釈迦堂地区 一部地権者との用地交渉が難航している。
有効性評価	③ 廃止、休止、活動量削減の成果への影響 * この事業を休廃止したら市民の立場から見ると具体的に何が困るか？また活動量削減の場合は？  <input type="checkbox"/> 特に影響はない <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり(多くの市民が困る・一部の市民が困る)	⇒【理由】 整備が計画途中で終わることになり、対象地区の農業者や住民が困ることとなる。
	④ 事業費や人件費(延べ従事人数)の削減余地 * 成果を低下させずにコスト削減ができないか？活動量との関係で現状のコストは適切か？  <input type="checkbox"/> 事業費や人件費の削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	⇒【理由】 職員は地元の説明と用地交渉を行う。特に地権者との用地交渉に時間がかかっているが、辛抱強い交渉が必要となり時間の短縮は難しい。

## 3 評価 (CHECK) 結果を踏まえた総括と今後の方向性 (ACTION) \* 1次評価者の評価結果を2次評価者が再評価

(1) 全体総括 (他自治体の取組状況等も踏まえた評価結果の振り返り、反省点)  <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内の整備が進んできたことや都市化に伴って、この事業に対する要望の数も減ってきているが、一宮南部地域から新たに花見台付近を通過する高規格農道建設の要望が出されている。</li> <li>・地区の状況 東八中央東地区 一部地権者との交渉が難航している。 釈迦堂地区 一部地権者との交渉が難航している。</li> </ul>																						
(2) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特段の改革を要しない)	(4) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上		○																			
	維持			×																		
	低下		×	×																		
(3) 改革、改善を実施する上で解決すべき課題(壁)の解決へ向けての取り組み  用地関係者との事業説明及び契約等を締結し、工事を実施するにあたり様々な角度から交渉・法手続きを行い事業が前進するように取り組む。																						

事務事業名	農道台帳管理事業						所属部	産業観光部	所属課	農林土木課
施策名	02 人が行き交う道路・交通ネットワークづくり						所属担当	農林土木担当	課長名	内田 修
法令根拠	土地改良法						個別計画			
予算科目	会計	款	項	目	細目	細々目	事業期間	単年度繰返(開始年度 H16年度～)		
	1	6	1	5	50	1				
○事務事業の概要および主な事業費の内訳										
・農道台帳の更新、補正業務を行う。 ・事業費の内訳 委託料 9,612千円 負担金 90千円										

1 現状把握の部 (PLAN)(DO)

(1) 事務事業の目的と指標			
① 手段(主な活動)		← 実施計画期間 →	
27年度実績	28年度実施計画	29年度実施計画	30年度実施計画
・昨年度工事箇所、寄附採納箇所の把握 ・農道台帳のシステム整備	・昨年度工事箇所、寄附採納箇所の把握 ・農道台帳のシステム整備	・昨年度工事箇所、寄附採納箇所の把握 ・農道台帳のシステム整備	・昨年度工事箇所、寄附採納箇所の把握 ・農道台帳のシステム整備
② 対象 (誰、何を対象にしているのか)		指標名(数字は記入しない) 単位	
農道全路線		⑤ 活動指標 (事務事業の活動量を表す指標)	
		ア 補正更新委託件数	件
③ 意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		⑥ 対象指標 (対象の大きさを表す指標)	
農道を管理する。		イ 延長	m
④ 結果 (意図した結果、さらに何に反映させるか)		⑦ 成果指標 (事務事業の目的の達成度を表す指標)	
農道の維持管理及び整備のための基礎資料となる。		ウ 総延長	km
		⑧ 施策の成果指標 (施策の目的の達成度を表す指標)	
		エ 幅員証明件数	件

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	25年度実績	26年度実績	27年度(実績・見込)	28年度(計画・目標)	29年度(計画・目標)	30年度(計画・目標)	補助事業名
投入量	事業費	国庫支出金	千円						
		県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	9,100	9,250	9,702	10,090	10,090	10,090
	事業費計 (A)	千円	9,100	9,250	9,702	10,090	10,090	10,090	
人件費	正規職員延従事人数	人	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	
	人件費計 (B)	千円	1,327	1,372	1,372	1,372	1,372	1,372	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	10,427	10,622	11,074	11,462	11,462	11,462	
活動指標	ア	件	2	2	2	2	2	2	
対象指標	イ	m	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	
成果指標	ウ	km	320	320	320	320	320	320	
上位成果指標	エ	件	50	50	50	50	50	50	

事務事業名	農道台帳管理事業
-------	----------

**2 評価の部 (CHECK) \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価**

妥当性評価	① 対象・意図の妥当性 * 対象・意図は実態と合っているか？上位施策から見てどうか？  <input type="checkbox"/> 見直し余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 対象・意図ともに実態と合っている	⇒【理由】 農道台帳の整備が目的であるため実態とあっている。
	② 成果の向上余地 * 事業の成果実績、水準は、あるべき水準と比べて差異はないか？  <input checked="" type="checkbox"/> 成果の実績はあるべき水準に達していない <input type="checkbox"/> 成果の実績はあるべき水準とほぼ同じである	⇒【理由】 管理台帳システムの改善余地あり。
有効性評価	③ 廃止、休止、活動量削減の成果への影響 * この事業を休廃止したら市民の立場から見ると具体的に何が困るか？また活動量削減の場合は？  <input type="checkbox"/> 特に影響はない <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり(多くの市民が困る・一部の市民が困る)	⇒【理由】 証明・許可、相談について影響が出る。
	④ 事業費や人件費(延べ従事人数)の削減余地 * 成果を低下させずにコスト削減ができないか？活動量との関係で現状のコストは適切か？  <input type="checkbox"/> 事業費や人件費の削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	⇒【理由】 毎年、農道整備が進み農道の延長等が増えているため計画的に整備を行う必要がある。
効率性評価		

**3 評価 (CHECK) 結果を踏まえた総括と今後の方向性 (ACTION) \* 1次評価者の評価結果を2次評価者が再評価**

(1) 全体総括 (他自治体の取組状況等も踏まえた評価結果の振り返り、反省点)  <p>・システムの一市一社独占のため、維持管理コストが高いと思われる。今後は、更なるコストダウンを要求する。</p>																						
(2) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特段の改革を要しない)	(4) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○	×																		
	低下		×	×																		
(3) 改革、改善を実施する上で解決すべき課題(壁)の解決へ向けての取り組み  <p>・電子データで管理することで、向上の余地があり、廃止、休止をした場合は証明等を受ける人が困ることになる。          ・補正箇所の把握をし、補正作業を早くする。</p>																						

事務事業名	地域環境資源活用推進事業					所属部	産業観光部	所属課	農林振興課
施策名	0	4	人々の交流を盛んにするしくみづくり			所属担当	農産推進担当	課長名	雨宮 良秋
法令根拠						個別計画			
予算科目	会計	款	項	目	細目	細々目	事業期間	期間限定複数年度( H19年度～H51年度)	
	1	6	1	3	250	1			
○事務事業の概要および主な事業費の内訳									
桃・ぶどうなどの優れた農産物の一層なイメージアップを図るため、生産基盤周辺の豊かな自然環境や農村環境の資源等を活用する。 農産物生産の源となるホタルの舞う清らかで豊かな水系環境をアピールするためホタル保護育成団体への助成を行う。 事業費の内訳 使用料 30千円 補助金 650千円									

1 現状把握の部 (PLAN) (DO)

(1) 事務事業の目的と指標			
① 手段(主な活動)		← 実施計画期間 →	
27年度実績	28年度実施計画	29年度実施計画	30年度実施計画
・保護育成団体への補助	・保護育成団体への補助	・保護育成団体への補助	・保護育成団体への補助
② 対象 (誰、何を対象にしているのか)		指標名(数字は記入しない) 単位	
↓ ・ホタル保護育成団体  ↓ ・ホタルを保護育成活動の支援を行い、地域活性化を目指す  ↓ ④ 結果 (意図した結果、さらに何に反映させるか)  観光客の誘致。地域住民活動の支援とともに、地域児童の情操教育にも繋げる		⑤ 活動指標 (事務事業の活動量を表す指標)	
		ア 助成金額 円	
		⑥ 対象指標 (対象の大きさを表す指標)	
		イ ホタル乱舞状況、地域住民参加回数 回	
		⑦ 成果指標 (事務事業の目的の達成度を表す指標)	
		ウ ホタル観賞者数 人	
		⑧ 施策の成果指標 (施策の目的の達成度を表す指標)	
		エ ホタル観賞者数 人	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	25年度実績	26年度実績	27年度(実績・見込)	28年度(計画・目標)	29年度(計画・目標)	30年度(計画・目標)	補助事業名
投入量	事業費	国庫支出金	千円						
		県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	860	2,130	680	680	680	680
	事業費計 (A)	千円	860	2,130	680	680	680	680	
人件費	正規職員延従事人数	人	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	
	人件費計 (B)	千円	66	69	69	69	69	69	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	926	2,199	749	749	749	749	
	活動指標	ア 円	750	750	750	750	750	750	
	対象指標	イ 回	2	2	2	2	2	2	
	成果指標	ウ 人	400	400	400	400	400	400	
	上位成果指標	エ 人	400	400	400	400	400	400	

事務事業名	地域環境資源活用推進事業
-------	--------------

## 2 評価の部 (CHECK) \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

妥当性評価	① 対象・意図の妥当性 * 対象・意図は実態と合っているか？上位施策から見てどうか？  <input type="checkbox"/> 見直し余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 対象・意図ともに実態と合っている	⇒【理由】 地域住民が積極的な取り組みを行っており、行政としても支援を行っていくことは妥当と考える。
	② 成果の向上余地 * 事業の成果実績、水準は、あるべき水準と比べて差異はないか？  <input type="checkbox"/> 成果の実績はあるべき水準に達していない <input checked="" type="checkbox"/> 成果の実績はあるべき水準とほぼ同じである	⇒【理由】 ほたる生息数も増え、見学者も増加傾向にある。
有効性評価	③ 廃止、休止、活動量削減の成果への影響 * この事業を休廃止したら市民の立場から見ると具体的に何が困るか？また活動量削減の場合は？  <input type="checkbox"/> 特に影響はない <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり(多くの市民が困る・一部の市民が困る)	⇒【理由】 多くの地域住民が自主的に活動に参加しており、現在でも最小限の支援となっているため、削減は多大の影響がある。
	④ 事業費や人件費(延べ従事人数)の削減余地 * 成果を低下させずにコスト削減ができないか？活動量との関係で現状のコストは適切か？  <input type="checkbox"/> 事業費や人件費の削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	⇒【理由】 必要最低限の事業費の支出に努めている。
効率性評価		

## 3 評価 (CHECK) 結果を踏まえた総括と今後の方向性 (ACTION) \* 1次評価者の評価結果を2次評価者が再評価

(1) 全体総括 (他自治体の取組状況等も踏まえた評価結果の振り返り、反省点) 補助金規定により支出している。 多くの地域住民が自主的に活動に参加し、ホテルの育成を通じイベントの創出、観光客の誘致なども企画している。活動の財源として当該補助金に大きく依存しているが、グッズ販売・イベント開催による収益等補助に依存しない団体運営が行えるよう市としても指導を行っている。																						
(2) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可  <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特段の改革を要しない)	(4) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○	×																		
	低下		×	×																		
(3) 改革、改善を実施する上で解決すべき課題(壁)の解決へ向けての取り組み 補助金額の引上げをして、数多くの地域住民が加入するように改善を検討。																						

事務事業名	観光宣伝事業						所属部	産業観光部	所属課	観光商工課
施策名	0	5	もてなしの心があふれる観光地づくり				所属担当	観光振興担当	課長名	菱山 一
法令根拠							個別計画			
予算科目	会計	款	項	目	細目	細々目	事業期間	単年度繰返(開始年度 H18年度～)		
	1	7	1	3	20	1				
○事務事業の概要および主な事業費の内訳										
◇観光振興を図るために行うキャンペーン活動及び広告媒体を活用した宣伝活動 ◇インバウンド誘致促進事業(海外誘客活動)及び外国人観光客の滞在宣伝活動  ◇平成27年度の主な事業費(単位:千円) 補助金・負担金 25,500 新聞雑誌広告 668 宣伝委託 17,225										

1 現状把握の部 (PLAN)(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動)

← 実施計画期間 →

27年度実績	28年度実施計画	29年度実施計画	30年度実施計画
テレビ・ラジオによる宣伝活動 市長トップセールス 観光実施キャンペーンの実施 インターネット広告 海外誘客活動(中国、東南アジア他)	テレビ・ラジオによる宣伝活動 市長トップセールス 観光実施キャンペーンの実施 インターネット広告 海外誘客活動(中国、東南アジア他)	テレビ・ラジオによる宣伝活動 市長トップセールス 観光実施キャンペーンの実施 インターネット広告 海外誘客活動(中国、東南アジア他)	テレビ・ラジオによる宣伝活動 市長トップセールス 観光実施キャンペーンの実施 インターネット広告 海外誘客活動(中国、東南アジア他)

② 対象(誰、何を対象にしているのか)

↓  
観光客

指標名(数字は記入しない) 単位

⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	ア	テレビ・ラジオ・雑誌・インターネット広告数	本
⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)	イ	観光エージェント訪問数	社
⑦ 成果指標(事務事業の目的の達成度を表す指標)	ウ	笛吹市観光客数	万人
⑧ 施策の成果指標(施策の目的の達成度を表す指標)	エ	笛吹市内宿泊数	万人

③ 意図(対象をどのような状態にしたいのか)

↓  
市内への観光客の誘客

④ 結果(意図した結果、さらに何に反映させるか)

観光客が増加し、地域経済が活性化する。

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	25年度実績	26年度実績	27年度(実績・見込)	28年度(計画・目標)	29年度(計画・目標)	30年度(計画・目標)	補助事業名
投入量	事業費	国庫支出金	千円			8,000			地方創生交付金
		県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円	10,000	13,450	14,684	15,000	15,000	
		一般財源	千円	18,080	10,611	25,548	6,000	6,000	
	事業費計(A)	千円	28,080	24,061	48,232	21,000	21,000	21,000	
人件費	正規職員延従事人数	人	0.80	0.80	0.80	0.80	0.80	0.80	
	人件費計(B)	千円	5,308	5,488	5,488	5,488	5,488	5,488	
トータルコスト(A)+(B)		千円	33,388	29,549	53,720	26,488	26,488	26,488	
活動指標	ア	本	40	40	40	40	40	40	
対象指標	イ	社	12	12	12	12	12	12	
成果指標	ウ	万人	345	350	360	365	370	375	
上位成果指標	エ	万人	98	105	110	115	120	125	

事務事業名	観光宣伝事業
-------	--------

## 2 評価の部 (CHECK) \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

妥当性評価	① 対象・意図の妥当性 * 対象・意図は実態と合っているか？上位施策から見てどうか？  <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり <input type="checkbox"/> 対象・意図ともに実態と合っている	⇒【理由】 イベントに係る宣伝事業は笛吹市観光物産連盟に委託しており成果を上げているため、宣伝事業全般を物産連盟に委託できるか検討したい。
	② 成果の向上余地 * 事業の成果実績、水準は、あるべき水準と比べて差異はないか？  <input type="checkbox"/> 成果の実績はあるべき水準に達していない <input checked="" type="checkbox"/> 成果の実績はあるべき水準とほぼ同じである	⇒【理由】 来訪者数は前年を上回っており成果は出ている。
有効性評価	③ 廃止、休止、活動量削減の成果への影響 * この事業を休廃止したら市民の立場から見ると具体的に何が困るか？また活動量削減の場合は？  <input type="checkbox"/> 特に影響はない <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり(多くの市民が困る・一部の市民が困る)	⇒【理由】 市の基幹産業である。
	④ 事業費や人件費(延べ従事人数)の削減余地 * 成果を低下させずにコスト削減ができないか？活動量との関係で現状のコストは適切か？  <input type="checkbox"/> 事業費や人件費の削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	⇒【理由】 事業費が維持されているため成果が出ている。また、業者との調整協議には専任担当者が必要であり、現状も兼務しているため、さらなる人員削減は多大な負担となるため余地はない。

## 3 評価 (CHECK) 結果を踏まえた総括と今後の方向性 (ACTION) \* 1次評価者の評価結果を2次評価者が再評価

(1) 全体総括 (他自治体の取組状況等も踏まえた評価結果の振り返り、反省点)  <p>イベント並びに全般の宣伝について、各種広告媒体を活用し、笛吹市の知名度アップと観光客の来訪を促した。  費用対効果の高いと思われる媒体・手法を検討し、集客向上を図っている。  今後、来訪の急増が期待される中国・東南アジア等からの観光客の誘致を進めている。</p>																						
(2) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可  <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特段の改革を要しない)	(4) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)  <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上		○																			
	維持			×																		
	低下		×	×																		
(3) 改革、改善を実施する上で解決すべき課題(壁)の解決へ向けての取り組み  <p>外国人観光客を誘客するための宣伝活動には多額の費用が掛かるが、国の交付金などを有効に利用し、できるものから着手する。</p>																						

事務事業名	観光イベント事業						所属部	産業観光部	所属課	観光商工課
施策名	0	5	もてなしの心があふれる観光地づくり				所属担当	観光振興担当	課長名	菱山 一
法令根拠							個別計画			
予算科目	会計	款	項	目	細目	細々目	事業期間	単年度繰返(開始年度 H18年度～)		
	1	7	1	3	30	1				
○事務事業の概要および主な事業費の内訳										
◇観光振興を目的とする各種イベント事業の実施 ◇平成27年度の主な事業費(単位:千円) 桃源郷春まつり・夏祭り委託 64,450										

1 現状把握の部 (PLAN)(DO)

(1) 事務事業の目的と指標			
① 手段(主な活動)		← 実施計画期間 →	
27年度実績	28年度実施計画	29年度実施計画	30年度実施計画
笛吹市桃源郷春まつり 笛吹市夏まつり 笛吹川石和鶺鴒 ハウス桃宴花見			
② 対象 (誰、何を対象にしているのか)		指標名(数字は記入しない) 単位	
↓ 観光客		⑤ 活動指標 (事務事業の活動量を表す指標)	
		ア まつり・イベント 件	
③ 意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		⑥ 対象指標 (対象の大きさを表す指標)	
↓ イベント実施による観光客の誘客		イ 日本の人口 万人	
④ 結果 (意図した結果、さらに何に反映させるか)		⑦ 成果指標 (事務事業の目的の達成度を表す指標)	
観光客が増加し、地域経済が活性化する。		ウ イベント来場者数 千人	
		⑧ 施策の成果指標 (施策の目的の達成度を表す指標)	
		エ 笛吹市観光客数 万人	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	25年度実績	26年度実績	27年度(実績・見込)	28年度(計画・目標)	29年度(計画・目標)	30年度(計画・目標)	補助事業名
投入量	事業費	国庫支出金	千円						
		財源内訳	千円						
		県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000
	一般財源	千円	88,157	83,476	69,918	69,000	69,000	69,000	
	事業費計(A)	千円	90,157	85,476	71,918	71,000	71,000	71,000	
人件費	正規職員延従事人数	人	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	
	人件費計(B)	千円	6,635	6,860	6,860	6,860	6,860	6,860	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	96,792	92,336	78,778	77,860	77,860	77,860	
	活動指標	ア 件	13	14	14	14	14	14	
	対象指標	イ 万人	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000	
	成果指標	ウ 千人	325	325	340	345	350	355	
	上位成果指標	エ 万人	345	350	360	365	370	375	

事務事業名	観光イベント事業
-------	----------

## 2 評価の部 (CHECK) \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

妥当性評価	① 対象・意図の妥当性 * 対象・意図は実態と合っているか？上位施策から見てどうか？	⇒【理由】 春夏まつり等主なイベントは笛吹市観光物産連盟へ補助金交付し成果を上げている。ハウス桃花見や鶴飼は関係団体に委託実施している。イベント全般について、観光物産連盟が主導することで効果的・効率的に実施できるか検討したい。
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり <input type="checkbox"/> 対象・意図ともに実態と合っている	
有効性評価	② 成果の向上余地 * 事業の成果実績、水準は、あるべき水準と比べて差異はないか？	⇒【理由】 来訪者数は前年を上回っており成果は出ている。
	<input type="checkbox"/> 成果の実績はあるべき水準に達していない <input checked="" type="checkbox"/> 成果の実績はあるべき水準とほぼ同じである	
効率性評価	③ 廃止、休止、活動量削減の成果への影響 * この事業を休廃止したら市民の立場から見ると具体的に何が困るか？また活動量削減の場合は？	⇒【理由】 市民のまつりとしても定着しており、市民が実施を希望している。
	<input type="checkbox"/> 特に影響はない <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり(多くの市民が困る・一部の市民が困る)	
効率性評価	④ 事業費や人件費(延べ従事人数)の削減余地 * 成果を低下させずにコスト削減ができないか？活動量との関係で現状のコストは適切か？	⇒【理由】 事業費が維持されているため成果が出ている。実施に当たり担当者の負担は大きく、人員削減はイベント実施さえ懸念される。
	<input type="checkbox"/> 事業費や人件費の削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	

## 3 評価 (CHECK) 結果を踏まえた総括と今後の方向性 (ACTION) \* 1次評価者の評価結果を2次評価者が再評価

(1) 全体総括 (他自治体の取組状況等も踏まえた評価結果の振り返り、反省点)																						
<p>年間を通じたイベントを実施することにより、笛吹市の知名度アップと観光客の来訪を促した。より一層の創意・工夫によりマンネリ化の解消と魅力向上を図る。</p>																						
(2) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																					
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特段の改革を要しない)	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上		○																			
	維持			×																		
	低下		×	×																		
(3) 改革、改善を実施する上で解決すべき課題(壁)の解決へ向けての取り組み																						
<p>イベント等が自主運営できる組織の基盤整備と共に、NPOや民間企業の参画・受入れを進める。</p>																						

事務事業名	ハイキングコース整備事業						所属部	産業観光部	所属課	観光商工課
施策名	0	5	もてなしの心があふれる観光地づくり				所属担当	観光振興担当	課長名	菱山 一
法令根拠							個別計画			
予算科目	会計	款	項	目	細目	細々目	事業期間	単年度繰返(開始年度 H18年度～)		
	1	7	1	3	60	1				
○事務事業の概要および主な事業費の内訳										
◇市内にある山梨百名山、9山のハイキングコースの維持管理と整備 ◇平成27年度の主な事業費(単位:千円) ハイキングコース整備委託 1,075										

1 現状把握の部 (PLAN)(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動)



27年度実績	28年度実施計画	29年度実施計画	30年度実施計画
草刈、コース整備、看板修繕	草刈、コース整備、看板修繕	草刈、コース整備、看板修繕	草刈、コース整備、看板修繕

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)

↓  
笛吹市内に点在する山梨百名山

指標名(数字は記入しない) 単位

⑤ 活動指標 (事務事業の活動量を表す指標)	
ア 整備箇所数	ヶ所
⑥ 対象指標 (対象の大きさを表す指標)	
イ コース数	コース
⑦ 成果指標 (事務事業の目的の達成度を表す指標)	
ウ 整備コース数	コース
⑧ 施策の成果指標 (施策の目的の達成度を表す指標)	
エ 笛吹市観光客数	万人

③ 意図 (対象をどのような状態にしたいのか)

↓  
ハイカーの安全確保、自然のアピール

④ 結果 (意図した結果、さらに何に反映させるか)

観光客が増加し、地域経済が活性化する。

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	25年度実績	26年度実績	27年度(実績・見込)	28年度(計画・目標)	29年度(計画・目標)	30年度(計画・目標)	補助事業名
事業費	国庫支出金	千円							自然環境保全地区管理委託金
	県支出金	千円	30	30	31	30	30	30	
	地方債	千円							
	その他	千円							
	一般財源	千円	1,485	1,485	1,424	1,400	1,400	1,400	
事業費計(A)	千円	1,515	1,515	1,455	1,430	1,430	1,430		
人件費	正規職員延従事人数	人	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	
	人件費計(B)	千円	664	686	686	686	686	686	
トータルコスト(A)+(B)		千円	2,179	2,201	2,141	2,116	2,116	2,116	
活動指標	ア	ヶ所	13	14	14	14	14	14	
対象指標	イ	コース	11	12	12	12	12	12	
成果指標	ウ	コース	11	12	12	12	12	12	
上位成果指標	エ	万人	345	350	360	365	370	375	

事務事業名	ハイキングコース整備事業
-------	--------------

**2 評価の部 (CHECK) \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価**

妥当性評価	① 対象・意図の妥当性 * 対象・意図は実態と合っているか？上位施策から見てどうか？  <input type="checkbox"/> 見直し余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 対象・意図ともに実態と合っている	⇒【理由】 自然という観光資源を生かし、もてなしの心があふれる観光地をつくるためには必要である。
	② 成果の向上余地 * 事業の成果実績、水準は、あるべき水準と比べて差異はないか？  <input checked="" type="checkbox"/> 成果の実績はあるべき水準に達していない <input type="checkbox"/> 成果の実績はあるべき水準とほぼ同じである	⇒【理由】 山梨百名山のほか付随するハイキングコース等の整備にも努めることで、多様な需要に応じていきたい。
有効性評価	③ 廃止、休止、活動量削減の成果への影響 * この事業を休廃止したら市民の立場から見ると具体的に何が困るか？また活動量削減の場合は？  <input type="checkbox"/> 特に影響はない <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり(多くの市民が困る・一部の市民が困る)	⇒【理由】 整備を怠ることにより、コースでの事故等が懸念される。
	④ 事業費や人件費(延べ従事人数)の削減余地 * 成果を低下させずにコスト削減ができないか？活動量との関係で現状のコストは適切か？  <input type="checkbox"/> 事業費や人件費の削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	⇒【理由】 登山道の点検整備計画を立て、職員の分担と看板設置や草刈等の整備を予算の範囲内で進めている。

**3 評価 (CHECK) 結果を踏まえた総括と今後の方向性 (ACTION) \* 1次評価者の評価結果を2次評価者が再評価**

(1) 全体総括 (他自治体の取組状況等も踏まえた評価結果の振り返り、反省点)  <p>市内山梨百名山を観光資源とするため、また登山愛好者の安全確保のため適宜整備する必要がある。大蔵経寺山・兜山のトレイルラン大会も山岳イベントとして実施して行く。</p>																						
(2) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特段の改革を要しない)	(4) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上		○																			
	維持			×																		
	低下		×	×																		
(3) 改革、改善を実施する上で解決すべき課題(壁)の解決へ向けての取り組み  <p>イベント等が自主運営できる組織の基盤整備とともに、NPOや民間企業の参画・受入れを進める。</p>																						

事務事業名	観光総務事業						所属部	産業観光部	所属課	観光商工課
施策名	0	5	もてなしの心があふれる観光地づくり				所属担当	観光企画担当	課長名	菱山 一
法令根拠							個別計画			
予算科目	会計	款	項	目	細目	細々目	事業期間	単年度繰返(開始年度 H21年度～)		
	1	7	1	3	10	1				
○事務事業の概要および主な事業費の内訳							観光協会・まつりの補助金のフロー			
◇観光で管理する施設の電気料等維持管理費、観光看板用地借地料、指定管理料、観光団体への補助金及び負担金 ◇平成27年度の主な事業費(単位:千円) 補助金・負担金 54,043 指定管理 4,346										

1 現状把握の部 (PLAN)(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動)



27年度実績	28年度実施計画	29年度実施計画	30年度実施計画
施設保守点検 補助金・負担金の交付	施設保守点検 補助金・負担金の交付	施設保守点検 補助金・負担金の交付	施設保守点検 補助金・負担金の交付

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)

観光施設  
観光団体

指標名(数字は記入しない) 単位

⑤ 活動指標 (事務事業の活動量を表す指標)	
ア 観光施設管理点検回数	回
⑥ 対象指標 (対象の大きさを表す指標)	
イ 管理施設数(看板、トイレ、街路灯、指定管理)	施設
⑦ 成果指標 (事務事業の目的の達成度を表す指標)	
ウ 石和温泉駅前観光案内所利用者数	人
⑧ 施策の成果指標 (施策の目的の達成度を表す指標)	
エ 笛吹市観光客数	万人

③ 意図 (対象をどのような状態にしたいのか)

施設の快適な利用  
安定的な事業推進

④ 結果 (意図した結果、さらに何に反映させるか)

外国及び日本国内からの誘客や、リピーターの確保

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	25年度実績	26年度実績	27年度(実績・見込)	28年度(計画・目標)	29年度(計画・目標)	30年度(計画・目標)	補助事業名
事業費	国庫支出金	千円							
	県支出金	千円							
	地方債	千円							
	その他	千円	340	314	340				
	一般財源	千円	70,991	61,863	67,479	65,000	65,000	65,000	
事業費計(A)	千円	71,331	62,177	67,819	65,000	65,000	65,000		
人件費	正規職員延従事人数	人	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	
	人件費計(B)	千円	6,635	6,860	6,860	6,860	6,860	6,860	
トータルコスト(A)+(B)		千円	77,966	69,037	74,679	71,860	71,860	71,860	
活動指標	ア	回	4	4	4	4	4	4	
対象指標	イ	施設	22	22	22	22	22	22	
成果指標	ウ	人	32,303	29,884	36,085	36,000	36,000	36,000	
上位成果指標	エ	万人	345	350	360	365	370	375	

事務事業名	観光総務事業
-------	--------

**2 評価の部 (CHECK) \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価**

妥当性評価	① 対象・意図の妥当性 * 対象・意図は実態と合っているか？上位施策から見てどうか？	⇒【理由】 市民は、公共施設の維持管理は市で行なうものと認識している。
	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 対象・意図ともに実態と合っている	
有効性評価	② 成果の向上余地 * 事業の成果実績、水準は、あるべき水準と比べて差異はないか？	⇒【理由】 適正に維持管理している。
	<input type="checkbox"/> 成果の実績はあるべき水準に達していない <input checked="" type="checkbox"/> 成果の実績はあるべき水準とほぼ同じである	
効率性評価	③ 廃止、休止、活動量削減の成果への影響 * この事業を休廃止したら市民の立場から見ると具体的に何が困るか？また活動量削減の場合は？	⇒【理由】 市民は、公共施設の維持管理は市で行なうものと認識している。
	<input type="checkbox"/> 特に影響はない <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり(多くの市民が困る・一部の市民が困る)	
効率性評価	④ 事業費や人件費(延べ従事人数)の削減余地 * 成果を低下させずにコスト削減ができないか？活動量との関係で現状のコストは適切か？	⇒【理由】 最低限の範囲で維持管理している。
	<input type="checkbox"/> 事業費や人件費の削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	

**3 評価 (CHECK) 結果を踏まえた総括と今後の方向性 (ACTION) \* 1次評価者の評価結果を2次評価者が再評価**

(1) 全体総括 (他自治体の取組状況等も踏まえた評価結果の振り返り、反省点)																						
<p>旧町村から引続きの観光施設のため老朽化が進んでいるが、維持管理は最低限に抑えている。一方、市民は、施設管理は市が行うものと考えているため、意識改革に努めながら存続を図る。</p>																						
(2) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																					
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特段の改革を要しない)	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○	×																		
	低下		×	×																		
(3) 改革、改善を実施する上で解決すべき課題(壁)の解決へ向けての取り組み																						
<p>各地域の特性があり、なかなか平準化できない。</p>																						

事務事業名	リニアの見える丘整備事業						所属部	産業観光部	所属課	観光商工課
施策名	0	5	もてなしの心があふれる観光地づくり				所属担当	観光企画担当	課長名	菱山 一
法令根拠							個別計画			
予算科目	会計	款	項	目	細目	細々目	事業期間	期間限定複数年度( H26年度～H27年度)		
	1	7	1	3	130	1				
○事務事業の概要および主な事業費の内訳										
◇リニアの見える丘構想に基づき、八代ふるさと公園展望台周辺を、リニア展望ビュースポットとして整備する。 ◇展望台建設による公園施設の充実を図り、市内外からの観光客を誘致することにより市のさらなる発展につなげる。										
◇平成27年度の主な事業費(単位:千円) 委託費 756 工事請負費 23,569										

1 現状把握の部 (PLAN) (DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動)



27年度実績	28年度実施計画	29年度実施計画	30年度実施計画
八代ふるさと公園展望台建設 鉄骨造 2階建て 周知・宣伝			

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)

観光客及び来園者

指標名(数字は記入しない) 単位

⑤ 活動指標 (事務事業の活動量を表す指標)	
ア 展望台の公開日数	日
⑥ 対象指標 (対象の大きさを表す指標)	
イ 展望台の利用者数	人
⑦ 成果指標 (事務事業の目的の達成度を表す指標)	
ウ 笛吹市観光客数	万人
⑧ 施策の成果指標 (施策の目的の達成度を表す指標)	
エ 笛吹市内宿泊者数	万人

③ 意図 (対象をどのような状態にしたいのか)

リニアモーターカーの展望及び桃源郷をはじめとする眺望の素晴らしさをPRする事によって市内観光地等への周遊を図る。

④ 結果 (意図した結果、さらに何に反映させるか)

観光客及び宿泊客が増加し、地域経済の活性化を図る。

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	25年度実績	26年度実績	27年度(実績・見込)	28年度(計画・目標)	29年度(計画・目標)	30年度(計画・目標)	補助事業名
事業費	国庫支出金	千円							富士の国やまなし観光振興施設整備補助金
	県支出金	千円			8,078				
	地方債	千円			15,400				
	その他	千円							
	一般財源	千円		2,893	847				
事業費計 (A)	千円		0	2,893	24,325	0	0	0	
人件費	正規職員延従事人数	人			0.10				
	人件費計 (B)	千円		0	686	0	0	0	
トータルコスト(A)+(B)		千円		2,893	25,011	0	0	0	
活動指標	ア	日			7				
対象指標	イ	人			300				
成果指標	ウ	万人			360				
上位成果指標	エ	万人			110				

事務事業名	リニアの見える丘整備事業
-------	--------------

## 2 評価の部 (CHECK) \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

妥当性評価	① 対象・意図の妥当性 * 対象・意図は実態と合っているか？上位施策から見てどうか？	⇒【理由】 リニアの開放・観覧区間は、都留市の見学センターと本市内だけにしかない。
	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 対象・意図ともに実態と合っている	
有効性評価	② 成果の向上余地 * 事業の成果実績、水準は、あるべき水準と比べて差異はないか？	⇒【理由】 リニアの観覧適地に展望台を建設した。
	<input type="checkbox"/> 成果の実績はあるべき水準に達していない <input checked="" type="checkbox"/> 成果の実績はあるべき水準とほぼ同じである	
効率性評価	③ 廃止、休止、活動量削減の成果への影響 * この事業を休廃止したら市民の立場から見ると具体的に何が困るか？また活動量削減の場合は？	⇒【理由】 国内唯一のリニアビュースポットを休止することは、観光スポットを失うこととなり、本市の魅力を減退させる。
	<input type="checkbox"/> 特に影響はない <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり(多くの市民が困る・一部の市民が困る)	
効率性評価	④ 事業費や人件費(延べ従事人数)の削減余地 * 成果を低下させずにコスト削減ができないか？活動量との関係で現状のコストは適切か？	⇒【理由】 電気代の支出が必要だが、清掃等の管理はふるさと公園の指定管理業務に含んでいる。
	<input type="checkbox"/> 事業費や人件費の削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	

## 3 評価 (CHECK) 結果を踏まえた総括と今後の方向性 (ACTION) \* 1次評価者の評価結果を2次評価者が再評価

(1) 全体総括 (他自治体の取組状況等も踏まえた評価結果の振り返り、反省点)																						
<p>国内において都留市と笛吹市でしか見ることの出来ない、リニア実験線の走行風景を希少な観光資源として位置づけ、国内外に情報発信することによって、類まれな観光スポットとしての確立を目指す。</p> <p>また、笛吹市が誇る春の「日本一桃源郷」のお花見をはじめ、自然豊かな山並み、甲府盆地の夜景等、季節を問わず利用可能な展望台の持つ魅力をさらに磨いていく。</p> <p>今後は、その存在及び魅力をメディア等で積極的にPRしていくことが必要である。</p>																						
(2) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																					
<input checked="" type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特段の改革を要しない)	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">X</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td style="text-align: center;">X</td> <td style="text-align: center;">X</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			X	低下		X	X
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持			X																		
	低下		X	X																		
(3) 改革、改善を実施する上で解決すべき課題(壁)の解決へ向けての取り組み																						
<p>公園の施設整備や利便性の向上を図るとともに、リニア展望台の魅力を増すためプラスα (イベントや撮影会の開催等) によって、ビュースポットの付加価値を高めていくことが必要である。</p>																						

事務事業名	新規就農者支援事業						所属部	産業観光部	所属課	農林振興課
施策名	0	6	桃・ぶどう日本一を誇る魅力的で安定的な農林業づくり				所属担当	農林経営担当	課長名	雨宮 良秋
法令根拠							個別計画			
予算科目	会計	款	項	目	細目	細々目	事業期間	単年度繰返(開始年度 H22年度～)		
	1	6	1	2	50	3				
○事務事業の概要および主な事業費の内訳										
<p>30歳未満の新規就農農業後継者(年間150日以上農業従事、確定申告時に事業専従者)に対し、支援として1世帯あたり月額30,000円以内(30歳になる月の前月まで)を月単位で交付する。</p> <p>また、45歳未満で、Iターン、Uターンにより経営主として農業を開始する新規就農者に対し、Iターンは年1,000,000円を、Uターンは年500,000円を2年間交付する。</p> <p>◇平成27年度の主な事業費(単位:千円)</p> <p>・補助金6,680</p>										

1 現状把握の部 (PLAN) (DO)

(1) 事務事業の目的と指標			
① 手段(主な活動)		← 実施計画期間 →	
27年度実績	28年度実施計画	29年度実施計画	30年度実施計画
支援金の交付	支援金の交付	支援金の交付	支援金の交付
② 対象 (誰、何を対象にしているのか)		指標名(数字は記入しない) 単位	
↓ 新規就農農業後継者		⑤ 活動指標 (事務事業の活動量を表す指標)	
		ア 支援金額	千円
③ 意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		⑥ 対象指標 (対象の大きさを表す指標)	
↓ 農業を続ける		イ 新規就農農業後継者、Iターン・Uターン就農者数	人
④ 結果 (意図した結果、さらに何に反映させるか)		⑦ 成果指標 (事務事業の目的の達成度を表す指標)	
市内農業を活性化させる		ウ 継続して農業を続ける新規就農農業後継者数	人
		⑧ 施策の成果指標 (施策の目的の達成度を表す指標)	
		エ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	25年度実績	26年度実績	27年度(実績・見込)	28年度(計画・目標)	29年度(計画・目標)	30年度(計画・目標)	補助事業名
投入量	事業費	国庫支出金	千円						
		財源内訳							
		県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
	一般財源	千円	15,440	11,580	6,680	7,400	7,400	7,400	
	事業費計(A)	千円	15,440	11,580	6,680	7,400	7,400	7,400	
人件費	正規職員延従事人数	人	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	
	人件費計(B)	千円	664	686	686	686	686	686	
トータルコスト(A)+(B)		千円	16,104	12,266	7,366	8,086	8,086	8,086	
	活動指標	ア 千円	15,440	11,580	6,680	7,400	7,400	7,400	
	対象指標	イ 人	42	33	18	17	17	17	
	成果指標	ウ 人	42	33	18	17	17	17	
	上位成果指標	エ							

事務事業名	新規就農者支援事業
-------	-----------

## 2 評価の部 (CHECK) \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

妥当性評価	① 対象・意図の妥当性 * 対象・意図は実態と合っているか？上位施策から見てどうか？	⇒【理由】 本事業は国が進めている青年就農給付金制度の受給要件を満たさない者に対して、就農を奨励するために制定された。
	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 対象・意図ともに実態と合っている	
有効性評価	② 成果の向上余地 * 事業の成果実績、水準は、あるべき水準と比べて差異はないか？	⇒【理由】 独立就農を目指す新規就農者や農業後継者にとって、補助金額は、充分とはいえないが、就農の動機付けとしてまた国の制度を補完する目的で制定された制度であるが、現実績はあるべき水準に到達していない。
	<input checked="" type="checkbox"/> 成果の実績はあるべき水準に達していない <input type="checkbox"/> 成果の実績はあるべき水準とほぼ同じである	
効率性評価	③ 廃止、休止、活動量削減の成果への影響 * この事業を休廃止したら市民の立場から見ると具体的に何が困るか？また活動量削減の場合は？	⇒【理由】 新規就農者には事業立ち上げなどに多額の費用がかかるので、国の制度を補完する意味からも事業継続は必要。
	<input type="checkbox"/> 特に影響はない <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり(多くの市民が困る・一部の市民が困る)	
効率性評価	④ 事業費や人件費(延べ従事人数)の削減余地 * 成果を低下させずにコスト削減ができないか？活動量との関係で現状のコストは適切か？	⇒【理由】 全額補助金として交付するため削減が不可能。
	<input type="checkbox"/> 事業費や人件費の削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	

## 3 評価 (CHECK) 結果を踏まえた総括と今後の方向性 (ACTION) \* 1次評価者の評価結果を2次評価者が再評価

(1) 全体総括 (他自治体の取組状況等も踏まえた評価結果の振り返り、反省点)																						
<p>独立就農を目指す新規就農者や農業後継者にとって、補助金額は、充分とはいえないが、就農の動機付けとしてまた国の制度を補完する目的で制定された制度であるので有効な制度と考える。</p>																						
(2) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																					
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特段の改革を要しない)	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>X</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td>X</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			X	低下			X
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上		○																			
	維持			X																		
	低下			X																		
(3) 改革、改善を実施する上で解決すべき課題(壁)の解決へ向けての取り組み																						
<p>制度の周知方法を検討する。</p>																						

事務事業名	援農支援システム構築事業						所属部	産業観光部	所属課	農林振興課
施策名	0	6	桃・ぶどう日本一を誇る魅力的で安定的な農林業づくり				所属担当	農林経営担当	課長名	雨宮 良秋
法令根拠							個別計画			
予算科目	会計	款	項	目	細目	細々目	事業期間	単年度繰返(開始年度 H21年度～)		
	1	6	1	2	80	1				
○事務事業の概要および主な事業費の内訳										
ふるさと雇用再生事業に伴う委託事業 平成24年度からは市単独事業 「援農支援センター」へ新規就農者や農作業の補助者(援農者)の農業技術講習会等の企画、研修実施を委託する。  ◇平成27年度の主な事業費(単位:千円) ・補助金4,125										

1 現状把握の部 (PLAN)(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動)



27年度実績	28年度実施計画	29年度実施計画	30年度実施計画
・農業技術講習会等の実施を委託	・農業技術講習会等の実施を委託	・農業技術講習会等の実施を委託	・農業技術講習会等の実施を委託

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)

↓  
市民

③ 意図 (対象をどのような状態にしたいのか)

↓  
新規就農者や援農者を育成する。

④ 結果 (意図した結果、さらに何に反映させるか)

農繁期など担い手不足を解消する。

指標名(数字は記入しない) 単位

⑤ 活動指標 (事務事業の活動量を表す指標)	
ア 講習会の実施数	回
⑥ 対象指標 (対象の大きさを表す指標)	
イ 市民	人
⑦ 成果指標 (事務事業の目的の達成度を表す指標)	
ウ 農業講習会参加者	人
⑧ 施策の成果指標 (施策の目的の達成度を表す指標)	
エ 認定農家数	人

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	25年度実績	26年度実績	27年度(実績・見込)	28年度(計画・目標)	29年度(計画・目標)	30年度(計画・目標)	補助事業名
投入量	事業費	国庫支出金	千円						
		県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	3,700	4,080	4,125	4,200	4,200	4,200
	事業費計(A)	千円	3,700	4,080	4,125	4,200	4,200	4,200	
人件費	正規職員延従事人数	人	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	
	人件費計(B)	千円	664	686	686	686	686	686	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	4,364	4,766	4,811	4,886	4,886	4,886	
活動指標	ア	回	23	28	28	28	28	28	
対象指標	イ	人	72,000	7,200	70,662	70,662	70,662	70,662	
成果指標	ウ	人	975	730	730	730	730	730	
上位成果指標	エ	人	619	710	833	830	830	830	

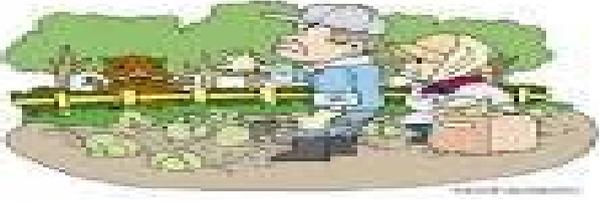
事務事業名	援農支援システム構築事業
-------	--------------

**2 評価の部 (CHECK) \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価**

妥当性評価	① 対象・意図の妥当性 * 対象・意図は実態と合っているか？上位施策から見てどうか？  <input type="checkbox"/> 見直し余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 対象・意図ともに実態と合っている	⇒【理由】 県と市単事業が共同して開催をしており、必要不可欠な制度である。
	② 成果の向上余地 * 事業の成果実績、水準は、あるべき水準と比べて差異はないか？  <input type="checkbox"/> 成果の実績はあるべき水準に達していない <input checked="" type="checkbox"/> 成果の実績はあるべき水準とほぼ同じである	⇒【理由】 期待以上の成果がでており、県からも評価を戴いている。
有効性評価	③ 廃止、休止、活動量削減の成果への影響 * この事業を休廃止したら市民の立場から見ると具体的に何が困るか？また活動量削減の場合は？  <input type="checkbox"/> 特に影響はない <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり(多くの市民が困る・一部の市民が困る)	⇒【理由】 研修受講者が多く、地域に定着している。
	④ 事業費や人件費(延べ従事人数)の削減余地 * 成果を低下させずにコスト削減ができないか？活動量との関係で現状のコストは適切か？  <input type="checkbox"/> 事業費や人件費の削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	⇒【理由】 1人の嘱託職員が全ての事務業務を賄っており、削減の余地は無い。

**3 評価 (CHECK) 結果を踏まえた総括と今後の方向性 (ACTION) \* 1次評価者の評価結果を2次評価者が再評価**

(1) 全体総括 (他自治体の取組状況等も踏まえた評価結果の振り返り、反省点)          これまでと同様に受講者の増加を目指し、農繁期などの農家の労働力不足解消を目指す。																						
(2) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可  <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特段の改革を要しない)	(4) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○	×																		
	低下		×	×																		
(3) 改革、改善を実施する上で解決すべき課題(壁)の解決へ向けての取り組み   講習会への参加者数の維持・向上に向け、講座内容の精査等を行う。																						

事務事業名	鳥獣害防止対策強化事業						所属部	産業観光部	所属課	農林振興課
施策名	0	6	桃・ぶどう日本一を誇る魅力的で安定的な農林業づくり				所属担当	農林経営担当	課長名	雨宮 良秋
法令根拠							個別計画			
予算科目	会計	款	項	目	細目	細々目	事業期間	単年度繰返(開始年度 H16年度～)		
	1	6	1	3	50	1				
○事務事業の概要および主な事業費の内訳										
<p>有害鳥獣被害防止対策事業の推進。また、アメリカシロヒトリを広域的かつ一斉に防除することにより、防除効果を高め、生活環境保持と農作物への被害防止、緑化思想の啓蒙を図る。</p> <p>・イノシシ、サルへの捕獲報奨金支払・各地区猟友会への有害鳥獣捕獲委託・有害鳥獣被害防止電気柵設置補助金交付・獣害防止柵の設置、補修原材料の支給・笛吹市鳥獣被害防止対策協議会への活動補助</p> <p>◇平成27年度の主な事業費(単位:千円)</p> <p>・報償費3,105・委託料2,630・原材料費1,000・補助金1,827</p>										

1 現状把握の部 (PLAN) (DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動)



27年度実績	28年度実施計画	29年度実施計画	30年度実施計画
<ul style="list-style-type: none"> <li>電気柵等の設置に対する補助金交付・行政区への薬剤支給</li> <li>猟友会に捕獲を委託</li> </ul>			

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)

- 市内農家
- 広域防除実施地区

指標名(数字は記入しない) 単位

⑤ 活動指標 (事務事業の活動量を表す指標)	
ア 補助金額	円
⑥ 対象指標 (対象の大きさを表す指標)	
イ 件数	件
⑦ 成果指標 (事務事業の目的の達成度を表す指標)	
ウ 被害額、被害面積	千円
⑧ 施策の成果指標 (施策の目的の達成度を表す指標)	
エ イノシシ、シカ、サル捕獲数	頭

③ 意図 (対象をどのような状態にしたいのか)

- 鳥獣害が減少する
- 病虫害を広域的かつ一斉に防除する

④ 結果 (意図した結果、さらに何に反映させるか)

生産性が向上し、収益が増える

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	25年度実績	26年度実績	27年度(実績・見込)	28年度(計画・目標)	29年度(計画・目標)	30年度(計画・目標)	補助事業名
投入量	事業費	国庫支出金	千円						新規狩猟者確保対策事業 特定鳥獣保護管理事業 ツキノワグマ放獣事業 鳥獣防除事業
		県支出金	千円	1,392	7,048	1,600	1,997	1,997	
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	10,913	25,832	7,730	7,342	7,342	
	事業費計(A)	千円	12,305	32,880	9,330	9,339	9,339		
人件費	正規職員延従事人数	人	0.50	0.50	5.00	0.50	0.50		
	人件費計(B)	千円	3,318	3,430	34,300	3,430	3,430		
トータルコスト(A)+(B)		千円	15,623	36,310	43,630	12,769	12,769		
活動指標	ア	円	1,421	1,539	1,347	1,357	1,357		
対象指標	イ	件	3,790	3,790	3,790	3,790	3,790		
成果指標	ウ	千円	26,369	24,806	25,000	25,000	25,000		
上位成果指標	エ	頭	119	100	180	180	180		

事務事業名	鳥獣害防止対策強化事業
-------	-------------

## 2 評価の部 (CHECK) \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

妥当性評価	① 対象・意図の妥当性 * 対象・意図は実態と合っているか？上位施策から見てどうか？  <input type="checkbox"/> 見直し余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 対象・意図ともに実態と合っている	⇒【理由】 事業実施をしているものの、獣の出現が非常に多く、充分とはいえないが、補助金等の支援により効果は確実に現れている。
	② 成果の向上余地 * 事業の成果実績、水準は、あるべき水準と比べて差異はないか？  <input type="checkbox"/> 成果の実績はあるべき水準に達していない <input checked="" type="checkbox"/> 成果の実績はあるべき水準とほぼ同じである	⇒【理由】 有害鳥獣の捕獲、被害防止など駆除と防御を併せて行っているため、それぞれの事業は相乗して効果を発揮している。
有効性評価	③ 廃止、休止、活動量削減の成果への影響 * この事業を休廃止したら市民の立場から見ると具体的に何が困るか？また活動量削減の場合は？  <input type="checkbox"/> 特に影響はない <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり(多くの市民が困る・一部の市民が困る)	⇒【理由】 事業実施により、充分とはいえないが、最小限の被害で何とか治まっている。廃止・削減は不可能。
	④ 事業費や人件費(延べ従事人数)の削減余地 * 成果を低下させずにコスト削減ができないか？活動量との関係で現状のコストは適切か？  <input type="checkbox"/> 事業費や人件費の削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	⇒【理由】 事業実施により、充分とはいえないが、最小限の被害で何とか治まっている。廃止・削減は不可能。
効率性評価		

## 3 評価 (CHECK) 結果を踏まえた総括と今後の方向性 (ACTION) \* 1次評価者の評価結果を2次評価者が再評価

(1) 全体総括 (他自治体の取組状況等も踏まえた評価結果の振り返り、反省点)  <p>圃場主が自ら設置する電気柵補助金対応は、被害を受けてからの対応となる。 有害鳥獣の駆除は、地元猟友会に依頼しているが、狩猟者が減少傾向である上に、有害獣が急激に増加しており、捕獲者の安全対策も講じる必要がある。 圃場主が被害を受けないようにするため、未然に被害防止ができる地域の組織作り等、地域に広がる取り組みが不可欠となる。 近年、住宅地への出没も増加しており、実質的取組みが急務である。</p>																						
(2) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特段の改革を要しない)	(4) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○	×																		
	低下		×	×																		
(3) 改革、改善を実施する上で解決すべき課題(壁)の解決へ向けての取り組み  <p>平成28年度から鳥獣被害対策実施隊を設置する予定。</p>																						

事務事業名	有機資源循環型農業推進事業						所属部	産業観光部	所属課	農林振興課
施策名	0	6	桃・ぶどう日本一を誇る魅力的で安定的な農林業づくり				所属担当	農林経営担当	課長名	雨宮 良秋
法令根拠							個別計画			
予算科目	会計	款	項	目	細目	細々目	事業期間	単年度繰返(開始年度 H19年度～)		
	1	6	1	3	210	3				
○事務事業の概要および主な事業費の内訳										
<p>・バイオマス資源である果樹剪定枝、生ごみを堆肥原料化し、環境保全型農業による農業、観光、地域の循環型社会を目指す。</p> <p>①学校給食および一般家庭から回収した生ごみを大型生ごみ処理機で堆肥原料化し、農家に無償提供する。</p> <p>②有用微生物活性液製造装置を購入し、生産した活性液を、農家及び市民に無償提供し、有機栽培技術の普及を行う。</p> <p>◇平成27年度の主な事業費(単位:千円)</p> <p>・委託料3,782・原材料費1,833・負担金4,230</p>										

1 現状把握の部 (PLAN) (DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動)



27年度実績	28年度実施計画	29年度実施計画	30年度実施計画
剪定枝粉碎機共同購入補助金事業、学習会の開催、生ゴミの回収・堆肥化	学習会の開催、生ゴミの回収・堆肥化	学習会の開催、生ゴミの回収・堆肥化	学習会の開催、生ゴミの回収・堆肥化

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)

- ① 農家
- ② 家庭、学校
- ③ 認定農家数

指標名(数字は記入しない) 単位

⑤ 活動指標 (事務事業の活動量を表す指標)	
ア 補助配布戸数(延べ戸数)	戸
⑥ 対象指標 (対象の大きさを表す指標)	
イ 農家戸数	戸
⑦ 成果指標 (事務事業の目的の達成度を表す指標)	
ウ EM活性液配布量	l
⑧ 施策の成果指標 (施策の目的の達成度を表す指標)	
エ 生ごみ堆肥生産量	kg

③ 意図 (対象をどのような状態にしたいのか)

生ゴミなど有機資源を堆肥化し対象者に配布する

④ 結果 (意図した結果、さらに何に反映させるか)

堆肥化した肥料を農家に利用してもらうことにより循環型社会の構築を目指す。

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	25年度実績	26年度実績	27年度(実績・見込)	28年度(計画・目標)	29年度(計画・目標)	30年度(計画・目標)	補助事業名
投入量	事業費	国庫支出金	千円						
		県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	13,229	10,815	11,653	10,905	10,905	10,905
	事業費計(A)	千円	13,229	10,815	11,653	10,905	10,905	10,905	
人件費	正規職員延従事人数	人	0.50	0.50	5.00	0.50	0.50	0.50	
	人件費計(B)	千円	3,318	3,430	34,300	3,430	3,430	3,430	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	16,547	14,245	45,953	14,335	14,335	14,335	
活動指標	ア	戸	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	
対象指標	イ	戸	3,790	3,790	3,790	3,790	3,790	3,790	
成果指標	ウ	l	32,000	32,000	32,000	32,000	32,000	32,000	
上位成果指標	エ	kg	85,415	71,865	68,623	68,623	68,623	68,623	

事務事業名	有機資源循環型農業推進事業
-------	---------------

**2 評価の部 (CHECK) \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価**

妥当性評価	① 対象・意図の妥当性 * 対象・意図は実態と合っているか？上位施策から見てどうか？  <input type="checkbox"/> 見直し余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 対象・意図ともに実態と合っている	⇒【理由】 事業が生ゴミ回収と堆肥製造と2つの作業がある。生ゴミ回収については御坂町成田地区から継続希望があり現在も継続している。堆肥製造についても国助成金を財源とした経過があるため、継続する必要がある。
	有効性評価	② 成果の向上余地 * 事業の成果実績、水準は、あるべき水準と比べて差異はないか？  <input type="checkbox"/> 成果の実績はあるべき水準に達していない <input checked="" type="checkbox"/> 成果の実績はあるべき水準とほぼ同じである
	③ 廃止、休止、活動量削減の成果への影響 * この事業を休廃止したら市民の立場から見ると具体的に何が困るか？また活動量削減の場合は？  <input type="checkbox"/> 特に影響はない <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり(多くの市民が困る・一部の市民が困る)	⇒【理由】 資源環境・リサイクルが滞る事態を招き市民、農家への影響を与え環境保全への意欲を低下させるおそれがある。
効率性評価	④ 事業費や人件費(延べ従事人数)の削減余地 * 成果を低下させずにコスト削減ができないか？活動量との関係で現状のコストは適切か？  <input type="checkbox"/> 事業費や人件費の削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	⇒【理由】 現状を維持するためには必要最小限の人件費となっている。

**3 評価 (CHECK) 結果を踏まえた総括と今後の方向性 (ACTION) \* 1次評価者の評価結果を2次評価者が再評価**

(1) 全体総括 (他自治体の取組状況等も踏まえた評価結果の振り返り、反省点)     <p>環境保全型農業を推進する上で象徴的事業の一つとなっている。製造した堆肥等は人気があり即日消費される。規模拡大や有償譲渡等が検討課題となる。</p>																						
(2) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特段の改革を要しない)	(4) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○	×																		
	低下		×	×																		
(3) 改革、改善を実施する上で解決すべき課題(壁)の解決へ向けての取り組み  <p>同内容先進自治体からの情報収集を行い、当該事業の方向性を検討する。</p>																						

事務事業名	農地流動化地域総合推進						所属部	産業観光部	所属課	農林振興課
施策名	0	6	桃・ぶどう日本一を誇る魅力的で安定的な農林業づくり				所属担当	農林経営担当	課長名	雨宮 良秋
法令根拠							個別計画			
予算科目	会計	款	項	目	細目	細々目	事業期間	単年度繰返(開始年度 H16年度～)		
	1	6	1	3	300	1				
○事務事業の概要および主な事業費の内訳										
農地利用促進事業・市民農園の運営 ・遊休農地の解消を図るため、農用地の借り手に対して農地流動化奨励補助金を交付する。 ・ふれあい農園の運営及び石和ミニ農園の運営事務補助 ◇平成27年度の主な事業費(単位:千円) ・補助金 7,252										

1 現状把握の部 (PLAN) (DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動)



27年度実績	28年度実施計画	29年度実施計画	30年度実施計画
<ul style="list-style-type: none"> <li>農地流動化奨励補助金の交付</li> <li>ふれあい農園の区画の確保、整備</li> </ul>			

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)

- 認定農業者、中核的農家
- 市民

指標名(数字は記入しない) 単位

⑤ 活動指標 (事務事業の活動量を表す指標)	
ア 補助金交付額	千円
⑥ 対象指標 (対象の大きさを表す指標)	
イ 認定農業者数	人
⑦ 成果指標 (事務事業の目的の達成度を表す指標)	
ウ 新たに利用集積された耕作面積	h a
⑧ 施策の成果指標 (施策の目的の達成度を表す指標)	
エ 遊休農地面積	h a

③ 意図 (対象をどのような状態にしたいのか)

- 有効活用されるようになる
- 市民が野菜や花等を栽培して自然に触れ合うとともに、農業に対する理解を深める。

④ 結果 (意図した結果、さらに何に反映させるか)

遊休農地の解消、担い手への農地集積

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	25年度実績	26年度実績	27年度(実績・見込)	28年度(計画・目標)	29年度(計画・目標)	30年度(計画・目標)	補助事業名
投入量	事業費	国庫支出金	千円						県農地利用集積推進事業
		財源内訳							
		県支出金	千円	1,084					
		地方債	千円						
		その他	千円	318	182	180	180	180	
	一般財源	千円	7,406	4,972	7,470	4,070	4,070		
	事業費計 (A)	千円	8,808	5,154	7,650	4,250	4,250		
人件費	正規職員延従事人数	人	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30		
	人件費計 (B)	千円	1,991	2,058	2,058	2,058	2,058		
	トータルコスト(A)+(B)	千円	10,799	7,212	9,708	6,308	6,308		
	活動指標	ア 千円	5,703	4,516	7,252	7,252	7,252		
	対象指標	イ 人	619	710	833	833	833		
	成果指標	ウ h a	12.5	15.8	27.6	27.6	27.6		
	上位成果指標	エ h a	143.0	141.4	140.3	139.0	138.0		

## 2 評価の部 (CHECK) \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

妥当性評価	① 対象・意図の妥当性 * 対象・意図は実態と合っているか？上位施策から見てどうか？	⇒【理由】 遊休農地の未然防止と担い手への農地集積が同時に行われることにより、効率よく農地の活性化を図ることができる。
	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 対象・意図ともに実態と合っている	
有効性評価	② 成果の向上余地 * 事業の成果実績、水準は、あるべき水準と比べて差異はないか？	⇒【理由】 農地中間管理事業と連携を図り、より強力に事業推進を図る。
	<input type="checkbox"/> 成果の実績はあるべき水準に達していない <input checked="" type="checkbox"/> 成果の実績はあるべき水準とほぼ同じである	
効率性評価	③ 廃止、休止、活動量削減の成果への影響 * この事業を休廃止したら市民の立場から見ると具体的に何が困るか？また活動量削減の場合は？	⇒【理由】 休廃止をすることにより遊休農地は増加することが懸念される。
	<input type="checkbox"/> 特に影響はない <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり(多くの市民が困る・一部の市民が困る)	
効率性評価	④ 事業費や人件費(延べ従事人数)の削減余地 * 成果を低下させずにコスト削減ができないか？活動量との関係で現状のコストは適切か？	⇒【理由】 人件費をかなり切り詰めて実施している。
	<input type="checkbox"/> 事業費や人件費の削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	

## 3 評価 (CHECK) 結果を踏まえた総括と今後の方向性 (ACTION) \* 1次評価者の評価結果を2次評価者が再評価

(1) 全体総括 (他自治体の取組状況等も踏まえた評価結果の振り返り、反省点)																						
<p>意欲ある借り手に対して補助金を交付したり、市民農園を貸し出すことにより、遊休農地の未然防止と担い手への農地集積が同時に行われるため、今後も効率よく農地の活性化を図ることが期待できる。</p>																						
(2) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																					
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特段の改革を要しない)	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○	×																		
	低下		×	×																		
(3) 改革、改善を実施する上で解決すべき課題(壁)の解決へ向けての取り組み																						
<p>農地中間管理事業と連携を図る必要がある。</p>																						

事務事業名	就農定住者促進事業						所属部	産業観光部	所属課	農林振興課
施策名	0	6	桃・ぶどう日本一を誇る魅力的で安定的な農林業づくり				所属担当	農林経営担当	課長名	雨宮 良秋
法令根拠							個別計画			
予算科目	会計	款	項	目	細目	細々目	事業期間	単年度繰返(開始年度 H27年度～)		
	1	6	1	3	300	4				
○事務事業の概要および主な事業費の内訳										
<p>市内の遊休農地を借り受け、2地域居住、移住と就農体験を希望する者をターゲットに就農希望者を募集する。「お試し」と銘打って募集することにより、就農希望者が気軽に農作業と田舎暮らしの体験ができる。希望者は公募により決定し、区画200～500㎡を貸し出す。</p> <p>◇平成27年度の主な事業費(単位:千円)                  ・工事費 1,400 ・備品購入費 624</p>										

1 現状把握の部 (PLAN) (DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動)



27年度実績	28年度実施計画	29年度実施計画	30年度実施計画
借受農地の整備 受け入れ環境整備 就農希望者公募決定 就農開始	活動状況取材 P R 就農希望者公募決定 P R 等効果の検証	活動状況取材 P R 就農希望者公募決定 P R 等効果の検証	活動状況取材 P R 就農希望者公募決定 P R 等効果の検証

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)

↓  
都会に居住する就農希望者

指標名(数字は記入しない) 単位

⑤ 活動指標 (事務事業の活動量を表す指標)	
ア 問い合わせ(相談) 数	件
⑥ 対象指標 (対象の大きさを表す指標)	
イ 申込数	件
⑦ 成果指標 (事務事業の目的の達成度を表す指標)	
ウ 貸出数	件
⑧ 施策の成果指標 (施策の目的の達成度を表す指標)	
エ 貸出数	件

③ 意図 (対象をどのような状態にしたいのか)

↓  
就農を通じて笛吹市に興味を持ってもらう

④ 結果 (意図した結果、さらに何に反映させるか)

遊休農地を有効活用し、新たな担い手を確保でき、新たな笛吹市の魅力を全国に発信できる。

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	25年度 実績	26年度 実績	27年度 (実績・見込)	28年度 (計画・目標)	29年度 (計画・目標)	30年度 (計画・目標)	補助事業名
投入量	事業費	国庫支出金	千円						
		県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円			2,310	860	860	860
	事業費計 (A)	千円	0	0	2,310	860	860	860	
人件費	正規職員延従事人数	人			0.20	0.20	0.20	0.20	
	人件費計 (B)	千円	0	0	1,372	1,372	1,372	1,372	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	0	0	3,682	2,232	2,232	2,232	
活動指標	ア	件			5	10	10	10	
対象指標	イ	件			0	2	3	4	
成果指標	ウ	件			0	2	3	4	
上位成果指標	エ	件			0	2	3	4	

事務事業名	就農定住者促進事業
-------	-----------

**2 評価の部 (CHECK) \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価**

妥当性評価	① 対象・意図の妥当性 * 対象・意図は実態と合っているか？上位施策から見てどうか？  <input type="checkbox"/> 見直し余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 対象・意図ともに実態と合っている	⇒【理由】 本年度は農地の借用と農園整備等、事業開始の準備期間として、概ねの事業が完了した。但し、借受者の公募をしたが、借り手が見つからなかった。
	有効性評価	② 成果の向上余地 * 事業の成果実績、水準は、あるべき水準と比べて差異はないか？  <input checked="" type="checkbox"/> 成果の実績はあるべき水準に達してない <input type="checkbox"/> 成果の実績はあるべき水準とほぼ同じである
効率性評価	③ 廃止、休止、活動量削減の成果への影響 * この事業を休廃止したら市民の立場から見ると具体的に何が困るか？また活動量削減の場合は？  <input type="checkbox"/> 特に影響はない <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり(多くの市民が困る・一部の市民が困る)	⇒【理由】 市内定住者を増やすことを目的として試行的に実施した事業であるため、方向性の検討をしながら継続する必要がある。
	④ 事業費や人件費(延べ従事人数)の削減余地 * 成果を低下させずにコスト削減ができないか？活動量との関係で現状のコストは適切か？  <input checked="" type="checkbox"/> 事業費や人件費の削減余地がある <input type="checkbox"/> 適切である	⇒【理由】 市内定住者を増やすことを目的として試行的に実施した事業であるため、関係他課と連携し事業を推進するなど人件費の見直しの余地がある。

**3 評価 (CHECK) 結果を踏まえた総括と今後の方向性 (ACTION) \* 1次評価者の評価結果を2次評価者が再評価**

(1) 全体総括 (他自治体の取組状況等も踏まえた評価結果の振り返り、反省点)  <p>今後、借り受け者の需要を把握するとともに、公募方法の検討が必要。市内定住者を増やすことを目的として試行的に実施した事業であるため、関係他課と連携し事業を推進するなど試行方法の見直しをする必要がある。</p>																						
(2) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特段の改革を要しない)	(4) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">✕</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td style="text-align: center;">✕</td> <td style="text-align: center;">✕</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上	○			維持			✕	低下		✕	✕
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上	○																				
	維持			✕																		
	低下		✕	✕																		
(3) 改革、改善を実施する上で解決すべき課題(壁)の解決へ向けての取り組み  <p>定住、就農するための支障を予測し、解消するための支援策を事業に盛り込む。          関係他課と連携し、効果的なPRを図る。          PRの方法を精査、検討する。</p>																						

事務事業名	果樹共済加入補助費						所属部	産業観光部	所属課	農林振興課
施策名	0	6	桃・ぶどう日本一を誇る魅力的で安定的な農林業づくり				所属担当	農産推進担当	課長名	雨宮 良秋
法令根拠							個別計画			
予算科目	会計	款	項	目	細目	細々目	事業期間	単年度繰返(開始年度 H16年度～)		
	1	6	1	2	60	1				
○事務事業の概要および主な事業費の内訳										
果樹共済の加入促進 事業費の内訳 補助金6,271千円										

1 現状把握の部 (PLAN) (DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動)



27年度実績	28年度実施計画	29年度実施計画	30年度実施計画
6,271千円 62,710a (1aあたり100円)	7,000千円 70,000a (1aあたり100円)	7,000千円 70,000a (1aあたり100円)	7,000千円 70,000a (1aあたり100円)

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)

・果樹共済及び施設園芸共済への加入可能農家

指標名(数字は記入しない) 単位

⑤ 活動指標 (事務事業の活動量を表す指標)	
ア 広報等活動回数	回
⑥ 対象指標 (対象の大きさを表す指標)	
イ 農振農用地区域面積	ha
⑦ 成果指標 (事務事業の目的の達成度を表す指標)	
ウ 果樹共済加入面積	ha
⑧ 施策の成果指標 (施策の目的の達成度を表す指標)	
エ 果樹共済加入面積	ha

③ 意図 (対象をどのような状態にしたいのか)

・安定した農業経営ができる  
 ・近年の異常気象による農産物被害の金銭的費用を軽減できる。

④ 結果 (意図した結果、さらに何に反映させるか)

持続的な農業振興が図れる

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	25年度実績	26年度実績	27年度(実績・見込)	28年度(計画・目標)	29年度(計画・目標)	30年度(計画・目標)	補助事業名
投入量	事業費	国庫支出金	千円						
		県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	6,275	6,337	6,271	7,000	7,000	7,000
	事業費計 (A)	千円	6,275	6,337	6,271	7,000	7,000	7,000	
人件費	正規職員延従事人数	人	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	
	人件費計 (B)	千円	66	69	69	69	69	69	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	6,341	6,406	6,340	7,069	7,069	7,069	
	活動指標	ア 回	1	1	1	1	1	1	
	対象指標	イ ha	3,548.1	3,548.4	3,534.8	3,534.8	3,530.8	3,526.8	
	成果指標	ウ ha	62.7	63.4	62.7	62.8	70.0	70.0	
	上位成果指標	エ ha	62.7	63.4	62.7	62.8	70.0	70.0	

事務事業名	果樹共済加入補助費
-------	-----------

## 2 評価の部 (CHECK) \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

妥当性評価	① 対象・意図の妥当性 * 対象・意図は実態と合っているか？上位施策から見てどうか？  <input type="checkbox"/> 見直し余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 対象・意図ともに実態と合っている	⇒【理由】 農家の経営安定のため、対象・意図ともに合っている。
	② 成果の向上余地 * 事業の成果実績、水準は、あるべき水準と比べて差異はないか？  <input checked="" type="checkbox"/> 成果の実績はあるべき水準に達していない <input type="checkbox"/> 成果の実績はあるべき水準とほぼ同じである	⇒【理由】 果樹共済へ加入していない農家が多数ある。
有効性評価	③ 廃止、休止、活動量削減の成果への影響 * この事業を休廃止したら市民の立場から見ると具体的に何が困るか？また活動量削減の場合は？  <input type="checkbox"/> 特に影響はない <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり(多くの市民が困る・一部の市民が困る)	⇒【理由】 気象災害に弱い果樹農業経営の安定のため少しでも加入率を向上する必要があるため農家の費用負担の軽減が不可欠である。
	④ 事業費や人件費(延べ従事人数)の削減余地 * 成果を低下させずにコスト削減ができないか？活動量との関係で現状のコストは適切か？  <input type="checkbox"/> 事業費や人件費の削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	⇒【理由】 適切な人員配置である。
効率性評価		

## 3 評価 (CHECK) 結果を踏まえた総括と今後の方向性 (ACTION) \* 1次評価者の評価結果を2次評価者が再評価

(1) 全体総括 (他自治体の取組状況等も踏まえた評価結果の振り返り、反省点) 補助金規定により支出している。 補助金については、共済掛金の1/2を国が負担し、掛金の一部について市で補助(10aあたり1,000円)を行っている。周辺市町村の状況は、甲府市・甲州市・中央市は農家掛金の1/3、山梨市は農家掛金30%の補助を行っており、笛吹市より手厚い補助がされている。																						
(2) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可  <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特段の改革を要しない)	(4) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上			○	維持			×	低下			×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上			○																		
	維持			×																		
	低下			×																		
(3) 改革、改善を実施する上で解決すべき課題(壁)の解決へ向けての取り組み 補助金額を周辺市町村と同額まで引上げを行い、数多くの農家が加入する施策を検討する必要があるが、財政負担の問題がある。																						

事務事業名	地域農業振興事業費						所属部	産業観光部	所属課	農林振興課
施策名	0	6	桃・ぶどう日本一を誇れる魅力的で安定的な農林業づくり				所属担当	農産推進担当	課長名	雨宮 良秋
法令根拠							個別計画			
予算科目	会計	款	項	目	細目	細々目	事業期間	単年度繰返(開始年度 H16年度～)		
	1	6	1	3	210	1				
○事務事業の概要および主な事業費の内訳										
市内の農業環境を整備するため国、県の補助事業及び市単独補助事業を導入して事業を実施する。 事業費の内訳 需用費 30千円 補助金24,660千円										

1 現状把握の部 (PLAN) (DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動)



27年度実績	28年度実施計画	29年度実施計画	30年度実施計画
遊休農地活用事業を活用して約1haの遊休農地の解消を行なった。環境保全型農業直接支援対策等事業を実施した。	遊休農地活用事業を活用して約1haの遊休農地の解消を行う。環境保全型農業直接支援対策等を実施する。JA笛吹一宮西統一共選所の整備を行なう。	遊休農地活用事業を活用して約1haの遊休農地の解消を行う。環境保全型農業直接支援対策等を実施する。	遊休農地活用事業を活用して約1haの遊休農地の解消を行う。環境保全型農業直接支援対策等を実施する。

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)

農業者・農業者団体

指標名(数字は記入しない) 単位

⑤ 活動指標 (事務事業の活動量を表す指標)	
ア 遊休農地面積	ha
⑥ 対象指標 (対象の大きさを表す指標)	
イ 遊休農地解消面積	ha
⑦ 成果指標 (事務事業の目的の達成度を表す指標)	
ウ 補助事業実施農地面積	ha
⑧ 施策の成果指標 (施策の目的の達成度を表す指標)	
エ 補助事業実施農地面積	ha

③ 意図 (対象をどのような状態にしたいのか)

補助事業を取り入れ新たな農業に取り組むようになる

④ 結果 (意図した結果、さらに何に反映させるか)

遊休農地の減少に繋げる

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	25年度実績	26年度実績	27年度(実績・見込)	28年度(計画・目標)	29年度(計画・目標)	30年度(計画・目標)	補助事業名
投入量	事業費	国庫支出金	千円						強い農業づくり交付金 農畜産物輸出拡大施設整備事業補助金
		県支出金	千円	5,065	10,010	11,191	473,757	47	
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	4,003	1,080	13,499	81,787	11,053	
	事業費計(A)	千円	9,068	11,090	24,690	555,544	11,100	11,100	
人件費	正規職員延従事人数	人	0	0	0	0	0	0	
	人件費計(B)	千円	66	69	69	69	69	69	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	9,134	11,159	24,759	555,613	11,169	11,169	
	活動指標	ア ha	750	750	750	750	750	750	
	対象指標	イ ha	2	2	2	2	2	2	
	成果指標	ウ ha	400	400	400	400	400	400	
	上位成果指標	エ ha	400	400	400	400	400	400	

事務事業名	地域農業振興事業費
-------	-----------

**2 評価の部 (CHECK) \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価**

妥当性評価	<p>① 対象・意図の妥当性 * 対象・意図は実態と合っているか？上位施策から見てどうか？</p> <p><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 対象・意図ともに実態と合っている</p>	<p>⇒【理由】</p> <p>農業振興を図る上で必要である。</p>
有効性評価	<p>② 成果の向上余地 * 事業の成果実績、水準は、あるべき水準と比べて差異はないか？</p> <p><input type="checkbox"/> 成果の実績はあるべき水準に達していない</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 成果の実績はあるべき水準とほぼ同じである</p>	<p>⇒【理由】</p> <p>補助対象者の希望者に対して概ね支援が行われている。</p>
有効性評価	<p>③ 廃止、休止、活動量削減の成果への影響 * この事業を休廃止したら市民の立場から見ると具体的に何が困るか？また活動量削減の場合は？</p> <p><input type="checkbox"/> 特に影響はない</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 影響あり(多くの市民が困る・一部の市民が困る)</p>	<p>⇒【理由】</p> <p>農業振興を進めるためには、遊休農地の解消は不可欠である。</p>
効率性評価	<p>④ 事業費や人件費(延べ従事人数)の削減余地 * 成果を低下させずにコスト削減ができないか？活動量との関係で現状のコストは適切か？</p> <p><input type="checkbox"/> 事業費や人件費の削減余地がある</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 適切である</p>	<p>⇒【理由】</p> <p>適切な人員配置である。</p>

**3 評価 (CHECK) 結果を踏まえた総括と今後の方向性 (ACTION) \* 1次評価者の評価結果を2次評価者が再評価**

<p>(1) 全体総括 (他自治体の取組状況等も踏まえた評価結果の振り返り、反省点)</p> <p>補助金規定により支出している。          農業環境を整備するための補助金で、補助対象者は一般農業者及び農業団体となる。          平成28年度については、笛吹農業協同組合で一宮統合共選所建設・一宮第3共選所の増築及び施設の整備、フルーツ山梨農業協同組合春日居支所の共選所の選果機を入替するためであり、例年と比較し事業費は多くなっている。</p>																						
<p>(2) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定</p> <p><input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特段の改革を要しない)</p>	<p>(4) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">X</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td style="text-align: center;">X</td> <td style="text-align: center;">X</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	X	低下		X	X
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○	X																		
	低下		X	X																		
<p>(3) 改革、改善を実施する上で解決すべき課題(壁)の解決へ向けての取り組み</p> <p>地域農業振興を図っていくため、当該事業以外の取組みと組み合わせて実施していく。</p>																						

事務事業名	農産物等消費拡大宣伝事業費						所属部	産業観光部	所属課	農林振興課
施策名	0	6	桃・ぶどう日本一を誇る魅力的で安定的な農林業づくり				所属担当	農産推進担当	課長名	雨宮 良秋
法令根拠							個別計画			
予算科目	会計	款	項	目	細目	細々目	事業期間	単年度繰返(開始年度 H17年度～)		
	1	6	1	3	230	1				
○事務事業の概要および主な事業費の内訳										
桃・ぶどうを主とする果実及び市内産農畜水産物及びその加工品等について国内外で消費宣伝事業を行い、もって全国に笛吹市を知らしめる。 事業費の内訳 旅費 297千円 需用費 810千円 委託料 5,917千円										

1 現状把握の部 (PLAN)(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動)



27年度実績	28年度実施計画	29年度実施計画	30年度実施計画
<ul style="list-style-type: none"> <li>市及び農協と共同して市場等で宣伝した。</li> <li>パンフレット配布</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市及び農協と共同して市場等で宣伝を行う。</li> <li>パンフレット配布</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市及び農協と共同して市場等で宣伝を行う。</li> <li>パンフレット配布</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市及び農協と共同して市場等で宣伝を行う。</li> <li>パンフレット配布</li> </ul>

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)

↓  
大都市圏の果樹消費者

指標名(数字は記入しない) 単位

⑤ 活動指標 (事務事業の活動量を表す指標)	
ア 宣伝活動回数	回
⑥ 対象指標 (対象の大きさを表す指標)	
イ 大都市圏の人口	万人
⑦ 成果指標 (事務事業の目的の達成度を表す指標)	
ウ 笛吹市の名産だと知っている人の割合	%
⑧ 施策の成果指標 (施策の目的の達成度を表す指標)	
エ	

③ 意図 (対象をどのような状態にしたいのか)

↓  
もも、ぶどうが市の特産であることがわかる

④ 結果 (意図した結果、さらに何に反映させるか)

市産の農産物の消費拡大

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	25年度実績	26年度実績	27年度(実績・見込)	28年度(計画・目標)	29年度(計画・目標)	30年度(計画・目標)	補助事業名
投入量	事業費	国庫支出金	千円						
		財源内訳							
		県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
	一般財源	千円	4,051	6,159	10,871	7,024	8,200	8,200	
	事業費計(A)	千円	4,051	6,159	10,871	7,024	8,200	8,200	
人件費	正規職員延従事人数	人	0.20	0.20	0.25	0.20	0.20	0.20	
	人件費計(B)	千円	1,327	1,372	1,715	1,372	1,372	1,372	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	5,378	7,531	12,586	8,396	9,572	9,572	
	活動指標	ア 回	7	8	8	7	7	7	
	対象指標	イ 万人	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	
	成果指標	ウ %	5	5	5	5	5	5	
	上位成果指標	エ							

事務事業名	農産物等消費拡大宣伝事業費
-------	---------------

## 2 評価の部 (CHECK) \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

妥当性評価	<p>① 対象・意図の妥当性 * 対象・意図は実態と合っているか？上位施策から見てどうか？</p> <p><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 対象・意図ともに実態と合っている</p>	<p>⇒【理由】</p> <p>日本一の桃・ぶどうを消費者にPRすることは妥当である。</p>
有効性評価	<p>② 成果の向上余地 * 事業の成果実績、水準は、あるべき水準と比べて差異はないか？</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 成果の実績はあるべき水準に達していない</p> <p><input type="checkbox"/> 成果の実績はあるべき水準とほぼ同じである</p>	<p>⇒【理由】</p> <p>大都市住民の認知度は、満足できる水準に達しているとは言えない。</p>
	<p>③ 廃止、休止、活動量削減の成果への影響 * この事業を休廃止したら市民の立場から見ると具体的に何が困るか？また活動量削減の場合は？</p> <p><input type="checkbox"/> 特に影響はない</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 影響あり(多くの市民が困る・一部の市民が困る)</p>	<p>⇒【理由】</p> <p>消費宣伝事業を継続的に実施することで、消費者や市場関係者の高い評価を得ていることを現場で感じていることから事業自体の有効性は高い。</p>
効率性評価	<p>④ 事業費や人件費(延べ従事人数)の削減余地 * 成果を低下させずにコスト削減ができないか？活動量との関係で現状のコストは適切か？</p> <p><input type="checkbox"/> 事業費や人件費の削減余地がある</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 適切である</p>	<p>⇒【理由】</p> <p>農業団体等へ宣伝事業を委託することは可能であり、現在も一部事業で実施している。</p>

## 3 評価 (CHECK) 結果を踏まえた総括と今後の方向性 (ACTION) \* 1次評価者の評価結果を2次評価者が再評価

<p>(1) 全体総括 (他自治体の取組状況等も踏まえた評価結果の振り返り、反省点)</p> <p>大都市住民の認知度知名度の向上は満足できる水準ではないが、宣伝事業を行っている中卸など市場関係者からは高い評価を受けている。市自体の認知度アップと併せ、事業の実効性を持たせるには継続した取り組みが重要と思われる。</p> <p>平年と比較し平成27年度において事業費が多いのは、全国桃サミットを開催したことによるものです。</p>																						
<p>(2) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定</p> <p><input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特段の改革を要しない)</p>	<p>(4) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">X</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td style="text-align: center;">X</td> <td style="text-align: center;">X</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	X	低下		X	X
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○	X																		
	低下		X	X																		
<p>(3) 改革、改善を実施する上で解決すべき課題(壁)の解決へ向けての取り組み</p> <p>事業継続していくことが重要。 農業団体等への事業委託等の有効性等を検証し、改善についても検討する。</p>																						

事務事業名	中山間地域等直接支払推進事業						所属部	産業観光部	所属課	農林振興課
施策名	0	6	桃・ぶどう日本一を誇る魅力的で安定的な農林業づくり				所属担当	農産推進担当	課長名	雨宮 良秋
法令根拠							個別計画			
予算科目	会計	款	項	目	細目	細々目	事業期間	期間限定複数年度( H27年度～H31年度)		
	1	6	1	3	260	1				
○事務事業の概要および主な事業費の内訳										
中山間地域において適切な農業生産活動等が継続されるよう農業生産の不利を補正する支援事業として、集落協定を締結し集落活動に取り組む集落に直接支払交付金を交付する。 市内6集落協定 報償費 90千円 需用費 300千円 役務費 8千円 交付金 2,052千円										

1 現状把握の部 (PLAN) (DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動)

← 実施計画期間 →

27年度実績	28年度実施計画	29年度実施計画	30年度実施計画
集落協定内容の実施確認	集落協定内容の実施確認 広報活動	集落協定内容の実施確認 広報活動	集落協定内容の実施確認 広報活動

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)

中山間地域の農地

指標名(数字は記入しない) 単位

⑤ 活動指標 (事務事業の活動量を表す指標)	
ア 集落協定数	数
⑥ 対象指標 (対象の大きさを表す指標)	
イ 面積	ha
⑦ 成果指標 (事務事業の目的の達成度を表す指標)	
ウ 中山間地域の事業参加面積	ha
⑧ 施策の成果指標 (施策の目的の達成度を表す指標)	
エ 中山間地域の事業参加面積	ha

③ 意図 (対象をどのような状態にしたいのか)

継続して耕作される

④ 結果 (意図した結果、さらに何に反映させるか)

遊休農地の発生を防ぎ、持続的な農業振興が図れる

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	25年度 実績	26年度 実績	27年度 (実績・見込)	28年度 (計画・目標)	29年度 (計画・目標)	30年度 (計画・目標)	補助事業名
投入量	事業費	財源内訳							中山間地域等 直接支払交付金 中山間地域等 直接支払推進 事業費補助金
		国庫支出金	千円	6,288	6,179	1,595	1,545	1,545	
		県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
	一般財源	千円	2,543	2,499	855	803	803	803	
	事業費計 (A)	千円	8,831	8,678	2,450	2,348	2,348	2,348	
人件費	正規職員延従事人数	人	0.30	0.30	0.30	0.30	0.01	0.01	
	人件費計 (B)	千円	1,991	2,058	2,058	2,058	69	69	
トータルコスト(A)+(B)		千円	10,822	10,736	4,508	4,406	2,417	2,417	
活動指標	ア	数	25	25	6	6	1	1	
対象指標	イ	ha	203	203	203	203	203	203	
成果指標	ウ	ha	200	200	69	69	69	69	
上位成果指標	エ	ha	200	200	69	69	69	69	

事務事業名	中山間地域等直接支払推進事業
-------	----------------

**2 評価の部 (CHECK) \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価**

妥当性評価	① 対象・意図の妥当性 * 対象・意図は実態と合っているか？上位施策から見てどうか？  <input type="checkbox"/> 見直し余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 対象・意図ともに実態と合っている	⇒【理由】 市では耕作放棄地解消事業を実施しており景観的にも遊休農地の解消は必要である。
	② 成果の向上余地 * 事業の成果実績、水準は、あるべき水準と比べて差異はないか？  <input type="checkbox"/> 成果の実績はあるべき水準に達していない <input checked="" type="checkbox"/> 成果の実績はあるべき水準とほぼ同じである	⇒【理由】 対象農地を持つ多くの農家が参加している。
有効性評価	③ 廃止、休止、活動量削減の成果への影響 * この事業を休廃止したら市民の立場から見ると具体的に何が困るか？また活動量削減の場合は？  <input type="checkbox"/> 特に影響はない <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり(多くの市民が困る・一部の市民が困る)	⇒【理由】 中山間地は耕作不利益地が多いため遊休農地が発生しやすいので、この事業は発生を抑制する事業である。
	④ 事業費や人件費(延べ従事人数)の削減余地 * 成果を低下させずにコスト削減ができないか？活動量との関係で現状のコストは適切か？  <input type="checkbox"/> 事業費や人件費の削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	⇒【理由】 適切な人員配置である。
効率性評価		

**3 評価 (CHECK) 結果を踏まえた総括と今後の方向性 (ACTION) \* 1次評価者の評価結果を2次評価者が再評価**

<p>(1) 全体総括 (他自治体の取組状況等も踏まえた評価結果の振り返り、反省点)</p> <p>国の事業であり事務手続きが決められているため。  協定集落数の減少は、協定農業者の高齢化によるものである。(制度が始まってから15年が経過し、協定参加者の高齢化が進行したことにより事業継続を断念する集落が急増することとなった。)  事業継続を断念した集落等が営農維持継続していけるよう別な形での支援施策等を活用する必要がある。</p> <p>※事業自体は平成12年度から実施されており、現在、5年サイクルによる第4期を実施中。</p>																						
<p>(2) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可</p> <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特段の改革を要しない)	<p>(4) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○	×																		
	低下		×	×																		
<p>(3) 改革、改善を実施する上で解決すべき課題(壁)の解決へ向けての取り組み  当該地域を含め市全体として農業支援、耕作放棄地の解消に向けてあらゆる手段を講じていく。</p>																						

事務事業名	地産地消推進事業						所属部	産業観光部	所属課	農林振興課
施策名	0	6	桃・ぶどう日本一を誇る魅力的で安定的な農林業づくり				所属担当	農産推進担当	課長名	雨宮 良秋
法令根拠							個別計画			
予算科目	会計	款	項	目	細目	細々目	事業期間	単年度繰返(開始年度 H16年度～)		
	1	6	1	7	20	1				
○事務事業の概要および主な事業費の内訳 八代・境川・春日居農産物直売所及び八代・境川農産物加工センターの維持管理指導  ◇平成27年度の主な事業費(単位:千円) 需用費 1,052 役務費 108 委託料 1,330 使用料 1,169 備品購入 713 負担金 60										

1 現状把握の部 (PLAN)(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動)



27年度実績	28年度実施計画	29年度実施計画	30年度実施計画
年2回のモニタリング調査を実施して運営・管理状況について指導助言を行った。	年2回のモニタリング調査を実施して運営・管理状況について指導助言を行う。 ・広報活動	年2回のモニタリング調査を実施して運営・管理状況について指導助言を行う。 ・広報活動	年2回のモニタリング調査を実施して運営・管理状況について指導助言を行う。 ・広報活動

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)

↓  
市民

指標名(数字は記入しない) 単位

⑤ 活動指標 (事務事業の活動量を表す指標)	
ア モニタリング回数	回
⑥ 対象指標 (対象の大きさを表す指標)	
イ 直売所数	箇所
⑦ 成果指標 (事務事業の目的の達成度を表す指標)	
ウ モニタリング回数	回
⑧ 施策の成果指標 (施策の目的の達成度を表す指標)	
エ 売上高	百万円

③ 意図 (対象をどのような状態にしたいのか)

↓  
地産地消の推進

④ 結果 (意図した結果、さらに何に反映させるか)

遊休農地の発生を防ぎ、持続的な農業振興が図れる。

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	25年度 実績	26年度 実績	27年度 (実績・見込)	28年度 (計画・目標)	29年度 (計画・目標)	30年度 (計画・目標)	補助事業名
投入量	事業費	国庫支出金	千円						やまなし農業 ルネッサンス 事業
		県支出金	千円		6,000				
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	13,204	24,241	4,432	4,200	4,200	
	事業費計 (A)	千円	13,204	30,241	4,432	4,200	4,200	4,200	
人件費	正規職員延従事人数	人	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	
	人件費計 (B)	千円	66	69	69	69	69	69	
トータルコスト(A)+(B)		千円	13,270	30,310	4,501	4,269	4,269	4,269	
活動指標	ア	回	2	2	2	2	2	2	
対象指標	イ	箇所	5	5	5	5	5	5	
成果指標	ウ	回	2	2	2	2	2	2	
上位成果指標	エ	百万円	303	331	351	360	360	360	

事務事業名	地産地消推進事業
-------	----------

**2 評価の部 (CHECK) \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価**

妥当性評価	① 対象・意図の妥当性 * 対象・意図は実態と合っているか？上位施策から見てどうか？	⇒【理由】 指定管理導入により公設民営による経費の削減につながっている。
	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 対象・意図ともに実態と合っている	
有効性評価	② 成果の向上余地 * 事業の成果実績、水準は、あるべき水準と比べて差異はないか？	⇒【理由】 経営状態を確認するためモニタリングを行なっている。
	<input type="checkbox"/> 成果の実績はあるべき水準に達していない <input checked="" type="checkbox"/> 成果の実績はあるべき水準とほぼ同じである	
効率性評価	③ 廃止、休止、活動量削減の成果への影響 * この事業を休廃止したら市民の立場から見ると具体的に何が困るか？また活動量削減の場合は？	⇒【理由】 地産地消は民間レベルで次第に市民に浸透してきている。
	<input type="checkbox"/> 特に影響はない <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり(多くの市民が困る・一部の市民が困る)	
効率性評価	④ 事業費や人件費(延べ従事人数)の削減余地 * 成果を低下させずにコスト削減ができないか？活動量との関係で現状のコストは適切か？	⇒【理由】 適切な人員配置である。
	<input type="checkbox"/> 事業費や人件費の削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	

**3 評価 (CHECK) 結果を踏まえた総括と今後の方向性 (ACTION) \* 1次評価者の評価結果を2次評価者が再評価**

(1) 全体総括 (他自治体の取組状況等も踏まえた評価結果の振り返り、反省点) 指定管理者制度を導入することで経費の削減、経営の自由度の向上に繋がっている。このことから農産物直売所は売上も順調に推移して、地域農業の活性化に寄与している。																						
(2) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特段の改革を要しない)	(4) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○	×																		
	低下		×	×																		
(3) 改革、改善を実施する上で解決すべき課題(壁)の解決へ向けての取り組み 各直売所の経営を安定させ、将来的には売却・移譲により市としての資本ストックの減量、建替・修繕等の普通建設費等の抑制に繋げる。																						

事務事業名	県営畑地帯総合整備事業						所属部	産業観光部	所属課	農林土木課
施策名	0	6	桃・ぶどう日本一を誇る魅力的で安定的な農林業づくり				所属担当	農林土木担当	課長名	内田 修
法令根拠	土地改良法						個別計画			
予算科目	会計	款	項	目	細目	細々目	事業期間	期間限定複数年度( H16年度～H35年度)		
	1	6	1	5	10	1				
○事務事業の概要および主な事業費の内訳										
<p>・県が市の要望に基づき、樹園地内の農道、水路、圃場整備等の改修、整備を行う事業で、市は事業費の25%の負担金を支払う。 (大野寺・笛吹川左岸・藤垜・黒駒西・一宮南部・みさか桃源の郷)</p> <p>・主な事業費の内訳 報償費 327千円 負担金 63,679千円</p>										

1 現状把握の部 (PLAN) (DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動)



27年度実績	28年度実施計画	29年度実施計画	30年度実施計画
<ul style="list-style-type: none"> <li>説明会の開催及び契約内容の理解を求める。</li> <li>工事</li> </ul>			

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)

- 関係地権者
- 対象地区住民

指標名(数字は記入しない) 単位

⑤ 活動指標 (事務事業の活動量を表す指標)	
ア 県・関係地権者との調整・協議の回数	回
⑥ 対象指標 (対象の大きさを表す指標)	
イ 対象地区農業者数	人
⑦ 成果指標 (事務事業の目的の達成度を表す指標)	
ウ 整備延長	m
⑧ 施策の成果指標 (施策の目的の達成度を表す指標)	
エ 申告農家1戸当り農業収入	千円・t
・農作物年間収穫量	

③ 意図 (対象をどのような状態にしたいのか)

- 畑に行きやすくなる。
- 畑が整形されて耕作しやすくなる。
- 生産性の流通が円滑になる。
- 畑に使う水が確保できる。

④ 結果 (意図した結果、さらに何に反映させるか)

生産性が向上収益が増える。

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	25年度実績	26年度実績	27年度(実績・見込)	28年度(計画・目標)	29年度(計画・目標)	30年度(計画・目標)	補助事業名
投入量	事業費	国庫支出金	千円						
		県支出金	千円						
		地方債	千円	96,800	161,900	89,300	103,400	90,000	90,000
		その他	千円	1,097	1,220	3,072	3,260	1,000	1,000
		一般財源	千円	7,452	10,530	8,620	4,890	5,500	5,500
	事業費計 (A)	千円	105,349	173,650	100,992	111,550	96,500	96,500	
人件費	正規職員延従事人数	人	1.50	1.40	1.30	1.30	1.30	1.30	
	人件費計 (B)	千円	9,953	9,604	8,918	8,918	8,918	8,918	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	115,302	183,254	109,910	120,468	105,418	105,418	
活動指標	ア	回	150	150	130	120	100	100	
対象指標	イ	人	700	800	700	700	500	400	
成果指標	ウ	m	3,120	4,540	3,000	3,000	2,500	2,500	
上位成果指標	エ	千円・t	3,900・47,000	3,900・47,000	3,900・47,000	3,900・47,000	3,900・47,000	3,900・47,000	

事務事業名	県営畑地帯総合整備事業
-------	-------------

## 2 評価の部 (CHECK) \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

妥当性評価	① 対象・意図の妥当性 * 対象・意図は実態と合っているか？上位施策から見てどうか？  <input type="checkbox"/> 見直し余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 対象・意図ともに実態と合っている	⇒【理由】 農業振興の観点から、行政として関わる必要がある。
	② 成果の向上余地 * 事業の成果実績、水準は、あるべき水準と比べて差異はないか？  <input type="checkbox"/> 成果の実績はあるべき水準に達していない <input checked="" type="checkbox"/> 成果の実績はあるべき水準とほぼ同じである	⇒【理由】 地区要望に基づき工事を計画的に実施しており成果が出ている。
有効性評価	③ 廃止、休止、活動量削減の成果への影響 * この事業を休止したら市民の立場から見ると具体的に何が困るか？また活動量削減の場合は？  <input type="checkbox"/> 特に影響はない <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり(多くの市民が困る・一部の市民が困る)	⇒【理由】 地区要望に基づき工事を計画的に実施しているので休止すると影響が出る。
	④ 事業費や人件費(延べ従事人数)の削減余地 * 成果を低下させずにコスト削減ができないか？活動量との関係で現状のコストは適切か？  <input type="checkbox"/> 事業費や人件費の削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	⇒【理由】 事業費は負担金のみである。これは当該年度の県事業費の25%を市が負担することが決まっているため削減の余地はない。

## 3 評価 (CHECK) 結果を踏まえた総括と今後の方向性 (ACTION) \* 1次評価者の評価結果を2次評価者が再評価

(1) 全体総括 (他自治体の取組状況等も踏まえた評価結果の振り返り、反省点) <ul style="list-style-type: none"> <li>・国の財政状況の悪化に伴って、年々事業の採択は難しくなっている。</li> <li>・市内の整備が進んできたことや都市化に伴って、この事業に対する要望の数も平坦地域では減ってきたが、中山間地域では希望が増えてきている。</li> <li>・事業期間は8～10年、総事業費30億円前後(市の負担は7億5千万円前後)と長期なため、完成するころには、後継者がいないなど、整備された農地の遊休化が目立つため、農林振興課のソフト事業との連携も特に必要になってくる。</li> </ul> 地区の状況 <ul style="list-style-type: none"> <li>・おおむね順調に進んでいる。</li> </ul>																						
(2) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特段の改革を要しない)	(4) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○	×																		
	低下		×	×																		
(3) 改革、改善を実施する上で解決すべき課題(壁)の解決へ向けての取り組み <ul style="list-style-type: none"> <li>・国の財政状況の悪化に伴って、事業の採択は難しくなっている。</li> <li>・昨年一宮南部地区が事業採択され動き出している。また、今年度は御坂尾山地区も事業採択されて動き出した。</li> </ul> 地区の状況 <ul style="list-style-type: none"> <li>・御坂大野寺地区・笛吹川左岸地区・御坂黒駒西地区・一宮南部地区は順調に進んでいる。</li> <li>・境川藤袋地区は一部地権者との用地交渉が難航している。</li> </ul>																						

事務事業名	中山間地域総合整備事業						所属部	産業観光部	所属課	農林土木課
施策名	0	6	桃・ぶどう日本一を誇る魅力的で安定的な農林業づくり				所属担当	農林土木担当	課長名	内田 修
法令根拠	土地改良法						個別計画			
予算科目	会計	款	項	目	細目	細々目	事業期間	期間限定複数年度( H16年度～H31年度)		
	1	6	1	5	10	5				
○事務事業の概要および主な事業費の内訳										
<p>・県が市の要望に基づき、地理的条件が悪く農業の生産条件が不利な中山間地域を対象に、農業生産基盤と農村生活環境基盤の整備を総合的に行なう事業で、市は事業費の15%の負担金を支払う。 (黒駒東・八代)</p> <p>・主な事業費の内訳</p> <p>報償費 336千円 負担金 15,545千円</p>										

1 現状把握の部 (PLAN)(DO)

(1) 事務事業の目的と指標				
① 手段(主な活動)				
← 実施計画期間 →				
27年度実績	28年度実施計画	29年度実施計画	30年度実施計画	
<ul style="list-style-type: none"> <li>説明会の開催及び契約内容の理解を求める。</li> <li>工事</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>説明会の開催及び契約内容の理解を求める。</li> <li>工事</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>説明会の開催及び契約内容の理解を求める。</li> <li>工事</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>説明会の開催及び契約内容の理解を求める。</li> <li>工事</li> </ul>	
② 対象 (誰、何を対象にしているのか)		指標名(数字は記入しない) 単位		
<ul style="list-style-type: none"> <li>関係地権者</li> <li>対象地区住民</li> </ul>		⑤ 活動指標 (事務事業の活動量を表す指標)		
		ア 県・関係地権者との調整・協議の回数		回
③ 意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		⑥ 対象指標 (対象の大きさを表す指標)		
<ul style="list-style-type: none"> <li>畑に行きやすくなる。</li> <li>畑が整形されて耕作しやすくなる。</li> <li>生産性の流通が円滑になる。 ・畑に使う水が確保できる。</li> <li>交通の便が向上する。</li> </ul>		イ 対象地区農業者数		人
④ 結果 (意図した結果、さらに何に反映させるか)		⑦ 成果指標 (事務事業の目的の達成度を表す指標)		
生産性が向上収益が増える。		ウ 整備延長		m
		⑧ 施策の成果指標 (施策の目的の達成度を表す指標)		
		エ 申告農家1戸当り農業収入農業者人口		千円・t
		イ 農作物年間収穫量		

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	25年度実績	26年度実績	27年度(実績・見込)	28年度(計画・目標)	29年度(計画・目標)	30年度(計画・目標)	補助事業名	
事業費	投入量	国庫支出金	千円							
		県支出金	千円							
		地方債	千円	6,800	5,900	14,000	17,100	17,100	17,100	
		その他	千円		504	336				
		一般財源	千円	376	645	1,545	900	900	900	
事業費計 (A)		千円	7,176	7,049	15,881	18,000	18,000	18,000		
人件費	投入量	正規職員延従事人数	人	1.00	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	
		人件費計 (B)	千円	6,635	3,430	3,430	3,430	3,430	3,430	
		トータルコスト(A)+(B)	千円	13,811	10,479	19,311	21,430	21,430	21,430	
活動指標	ア	回	50	50	50	50	50	50		
対象指標	イ	人	60	60	60	60	60	60		
成果指標	ウ	m	600	150	300	300	300	300		
上位成果指標	エ	千円・t	3900・47000	3900・47000	3900・47000	3900・47000	3900・47000	3900・47000		

事務事業名	中山間地域総合整備事業
-------	-------------

## 2 評価の部 (CHECK) \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

妥当性評価	① 対象・意図の妥当性 * 対象・意図は実態と合っているか？上位施策から見てどうか？  <input type="checkbox"/> 見直し余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 対象・意図ともに実態と合っている	⇒【理由】 中山間地域の農業基盤整備により農作業がしやすくなることを目的としているため実態とあっている。
	② 成果の向上余地 * 事業の成果実績、水準は、あるべき水準と比べて差異はないか？  <input type="checkbox"/> 成果の実績はあるべき水準に達していない <input checked="" type="checkbox"/> 成果の実績はあるべき水準とほぼ同じである	⇒【理由】 地区要望に基づき計画的に工事を実施しており成果がでている。
有効性評価	③ 廃止、休止、活動量削減の成果への影響 * この事業を休廃止したら市民の立場から見ると具体的に何が困るか？また活動量削減の場合は？  <input type="checkbox"/> 特に影響はない <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり(多くの市民が困る・一部の市民が困る)	⇒【理由】 整備が計画途中で終わることとなると対象地区の農業者や住民が困ることとなる。
	④ 事業費や人件費(延べ従事人数)の削減余地 * 成果を低下させずにコスト削減ができないか？活動量との関係で現状のコストは適切か？  <input type="checkbox"/> 事業費や人件費の削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	⇒【理由】 事業費は負担金のみである。これは当該年度の県事業費の15%を市が負担することが決まっているため削減の余地はない。

## 3 評価 (CHECK) 結果を踏まえた総括と今後の方向性 (ACTION) \* 1次評価者の評価結果を2次評価者が再評価

(1) 全体総括 (他自治体の取組状況等も踏まえた評価結果の振り返り、反省点)  <ul style="list-style-type: none"> <li>国の財政状況の悪化に伴って、年々事業の採択は難しくなっている。</li> <li>中山間地域では不便さの解消を望むことから事業要望が出てきている。</li> <li>地区の状況 <ul style="list-style-type: none"> <li>八代地区 順調に事業が進んでいる。H28年度で終了</li> <li>黒駒東地区 順調に事業が進んでいる。</li> </ul> </li> </ul>																						
(2) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特段の改革を要しない)	(4) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○	×																		
	低下		×	×																		
(3) 改革、改善を実施する上で解決すべき課題(壁)の解決へ向けての取り組み  <ul style="list-style-type: none"> <li>国の財政状況の悪化に伴って、年々事業の採択は難しくなっている。</li> <li>中山間地域では不便さの解消を希望することから事業要望が出てきている。</li> <li>地区の状況 <ul style="list-style-type: none"> <li>八代地区 順調に事業が進んできている。</li> <li>黒駒東地区 順調に事業が進んできている。</li> </ul> </li> <li>市の負担も有利なことから、今後もできるだけ事業に取り組みたい。</li> </ul>																						

事務事業名	笛吹川沿岸土地改良事業費						所属部	産業観光部	所属課	農林土木課
施策名	0	6	桃・ぶどう日本一を誇る魅力的で安定的な農林業づくり				所属担当	農林土木担当	課長名	内田 修
法令根拠	土地改良法						個別計画			
予算科目	会計	款	項	目	細目	細々目	事業期間	期間限定複数年度( H16年度～H35年度)		
	1	6	1	5	20	1				
○事務事業の概要および主な事業費の内訳										
・既に事業が完了した笛吹川沿岸畑かん施設等の維持・管理及び建設にかかった事業費の市負担金の支払いを行う。(笛吹川沿岸土地改良区) ・地域給水栓の維持管理を行う。										
・主な事業費の内訳 需用費 650千円 負担金・補助金 137,866千円										

1 現状把握の部 (PLAN) (DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動)

← 実施計画期間 →

27年度実績	28年度実施計画	29年度実施計画	30年度実施計画
負担金の納付及び給水栓の維持管理	負担金の納付及び給水栓の維持管理	負担金の納付及び給水栓の維持管理	負担金の納付及び給水栓の維持管理

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)

↓  
笛吹畑かん受益者

指標名(数字は記入しない) 単位

⑤ 活動指標 (事務事業の活動量を表す指標)	
ア 現地視察回数	件
⑥ 対象指標 (対象の大きさを表す指標)	
イ 故障件数	件
⑦ 成果指標 (事務事業の目的の達成度を表す指標)	
ウ 受益農家数	戸
⑧ 施策の成果指標 (施策の目的の達成度を表す指標)	
エ 申告農家1戸当り農業収入	千円

③ 意図 (対象をどのような状態にしたいのか)

↓  
農業用水を安定に使用できる。

④ 結果 (意図した結果、さらに何に反映させるか)

生産性が向上収益が増える。

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	25年度実績	26年度実績	27年度(実績・見込)	28年度(計画・目標)	29年度(計画・目標)	30年度(計画・目標)	補助事業名
投入量	事業費	国庫支出金	千円						
		財源内訳	千円						
		県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円	40	40	40	40	40	40
	一般財源	千円	190,250	143,944	138,651	141,451	140,000	140,000	
	事業費計 (A)	千円	190,290	143,984	138,691	141,491	140,040	140,040	
人件費	正規職員延従事人数	人	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	
	人件費計 (B)	千円	1,327	1,372	1,372	1,372	1,372	1,372	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	191,617	145,356	140,063	142,863	141,412	141,412	
	活動指標	ア 件	60	60	60	60	60	60	
	対象指標	イ 件	19	18	18	17	17	17	
	成果指標	ウ 戸	4,187	4,187	4,187	4,187	4,187	4,187	
	上位成果指標	エ 千円	3,900	3,900	3,900	3,900	3,900	3,900	

事務事業名	笛吹川沿岸土地改良事業費
-------	--------------

**2 評価の部 (CHECK) \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価**

妥当性評価	① 対象・意図の妥当性 * 対象・意図は実態と合っているか？上位施策から見てどうか？  <input type="checkbox"/> 見直し余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 対象・意図ともに実態と合っている	⇒【理由】 笛吹川畑かんの維持・管理を行うことで農家の圃場への散水がスムーズに実施できるため実態とあっている。
	② 成果の向上余地 * 事業の成果実績、水準は、あるべき水準と比べて差異はないか？  <input checked="" type="checkbox"/> 成果の実績はあるべき水準に達していない <input type="checkbox"/> 成果の実績はあるべき水準とほぼ同じである	⇒【理由】 受益農家数が当初の計画時の加入者より減少したため。
有効性評価	③ 廃止、休止、活動量削減の成果への影響 * この事業を休廃止したら市民の立場から見ると具体的に何が困るか？また活動量削減の場合は？  <input type="checkbox"/> 特に影響はない <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり(多くの市民が困る・一部の市民が困る)	⇒【理由】 これまでに多くの農家が畑かんに加入しているため。
	④ 事業費や人件費(延べ従事人数)の削減余地 * 成果を低下させずにコスト削減ができないか？活動量との関係で現状のコストは適切か？  <input type="checkbox"/> 事業費や人件費の削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	⇒【理由】 施設整備は既に完了し負担金の支出だけであるため、削減の余地はない。

**3 評価 (CHECK) 結果を踏まえた総括と今後の方向性 (ACTION) \* 1次評価者の評価結果を2次評価者が再評価**

(1) 全体総括 (他自治体の取組状況等も踏まえた評価結果の振り返り、反省点)          <ul style="list-style-type: none"> <li>施設の老朽化が進むため、維持の対策が必要である。</li> </ul>																						
(2) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特段の改革を要しない)	(4) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○	×																		
	低下		×	×																		
(3) 改革、改善を実施する上で解決すべき課題(壁)の解決へ向けての取り組み   <ul style="list-style-type: none"> <li>今後、施設の老朽化が進むため、維持の対策が必要となり、市の負担も増加する懸念がある。</li> </ul>																						

事務事業名	土地改良事業費						所属部	産業観光部	所属課	農林土木課
施策名	0	6	桃・ぶどう日本一を誇れる魅力的で安定的な農林業づくり				所属担当	農林土木担当	課長名	内田 修
法令根拠	土地改良法						個別計画			
予算科目	会計	款	項	目	細目	細々目	事業期間	期間限定複数年度( H16年度～H35年度)		
	1	6	1	5	30	1				
○事務事業の概要および主な事業費の内訳										
<p>・団体営土地改良事業(春日居地区)の償還元利負担金、各土地改良区や水利組合への負担金の支出を行う。</p> <p>・各種土地改良事業を行うための総務的経費を支出する。</p> <p>・農業土木積算システムの維持管理を行う。</p> <p>・主な事業費の内訳</p> <p>委託料 1,089千円</p> <p>備品 483千円</p> <p>負担金・補助金 26,811千円</p>										

1 現状把握の部 (PLAN) (DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動)

← 実施計画期間 →

27年度実績	28年度実施計画	29年度実施計画	30年度実施計画
負担金の支出 補助金の交付	負担金の支出 補助金の交付	負担金の支出 補助金の交付	負担金の支出 補助金の交付

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)

- 対象地区住民
- 関係地権者
- 対象各団体

指標名(数字は記入しない) 単位

⑤ 活動指標 (事務事業の活動量を表す指標)	
ア 区・関係地権者との調整・協議の回数	回
⑥ 対象指標 (対象の大きさを表す指標)	
イ 整備延長	km
⑦ 成果指標 (事務事業の目的の達成度を表す指標)	
ウ 受益農家数	戸
⑧ 施策の成果指標 (施策の目的の達成度を表す指標)	
エ 申告農家1戸当り農業収入	千円

③ 意図 (対象をどのような状態にしたいのか)

- 畑に行きやすくなる。
- 畑に使う水が確保できる。

④ 結果 (意図した結果、さらに何に反映させるか)

生産性が向上収益が増える。

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	25年度 実績	26年度 実績	27年度 (実績・見込)	28年度 (計画・目標)	29年度 (計画・目標)	30年度 (計画・目標)	補助事業名
投入量	事業費	国庫支出金	千円						
		県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円	7,877	6,709	4,992	11,183	10,000	9,000
		一般財源	千円	39,055	31,402	23,777	11,996	10,000	9,000
	事業費計 (A)	千円	46,932	38,111	28,769	23,179	20,000	18,000	
人件費	正規職員延従事人数	人	0.90	0.60	0.50	0.40	0.40	0.40	
	人件費計 (B)	千円	5,972	4,116	3,430	2,744	2,744	2,744	
トータルコスト(A)+(B)		千円	52,904	42,227	32,199	25,923	22,744	20,744	
活動指標	ア	回	20	20	20	20	20	20	
対象指標	イ	km	4	4	4	4	4	4	
成果指標	ウ	戸	4,978	4,978	4,978	4,978	4,978	4,978	
上位成果指標	エ	千円	3,900	3,900	3,900	3,900	3,900	3,900	

事務事業名	土地改良事業費
-------	---------

**2 評価の部 (CHECK) \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価**

妥当性評価	① 対象・意図の妥当性 * 対象・意図は実態と合っているか？上位施策から見てどうか？	⇒【理由】 団体営土地改良（春日居地区）の元利金償還と土地改良区の補助が主目的であるため実態とあっている。
	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 対象・意図ともに実態と合っている	
有効性評価	② 成果の向上余地 * 事業の成果実績、水準は、あるべき水準と比べて差異はないか？	⇒【理由】 用地交渉に時間がかかるため、工事の着工が遅れる。
	<input checked="" type="checkbox"/> 成果の実績はあるべき水準に達していない <input type="checkbox"/> 成果の実績はあるべき水準とほぼ同じである	
効率性評価	③ 廃止、休止、活動量削減の成果への影響 * この事業を休廃止したら市民の立場から見ると具体的に何が困るか？また活動量削減の場合は？	⇒【理由】 補助金や負担金・賦課金が主であるため困ることとなる。
	<input type="checkbox"/> 特に影響はない <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり(多くの市民が困る・一部の市民が困る)	
効率性評価	④ 事業費や人件費(延べ従事人数)の削減余地 * 成果を低下させずにコスト削減ができないか？活動量との関係で現状のコストは適切か？	⇒【理由】 事務量が限定的であり削減する余地はない、適切である。
	<input type="checkbox"/> 事業費や人件費の削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	

**3 評価 (CHECK) 結果を踏まえた総括と今後の方向性 (ACTION) \* 1次評価者の評価結果を2次評価者が再評価**

(1) 全体総括 (他自治体の取組状況等も踏まえた評価結果の振り返り、反省点)																						
<ul style="list-style-type: none"> <li>補助金については検討の余地あり。 近津用水土地改良区、富士見土地改良区、差出堰土地改良区、馬の鞍水利組合</li> <li>負担金については毎年償還が進み負担額が減少している。</li> </ul>																						
(2) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																					
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特段の改革を要しない)	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○	×																		
	低下		×	×																		
(3) 改革、改善を実施する上で解決すべき課題(壁)の解決へ向けての取り組み																						
<ul style="list-style-type: none"> <li>補助金については検討の余地あり。</li> <li>土地改良区の時代に即した有り方(総代制)、定款改定等の課題がある。</li> <li>※事業の方向性でなく土地改良区内の総代制について課題がある。</li> </ul>																						

事務事業名	農業施設整備事業						所属部	産業観光部	所属課	農林土木課		
施策名	0	6	桃・ぶどう日本一を誇れる魅力的で安定的な農林業づくり				所属担当	農林土木担当	課長名	内田 修		
法令根拠	土地改良法						個別計画					
予算科目	会計	款	項	目	細目	細々目	事業期間	単年度繰返(開始年度 H16年度～)				
	1	6	1	5	30	2						
○事務事業の概要および主な事業費の内訳												
<p>・市内の農道や用水路等の農業基盤について、行政区等の要望や政策的に整備の必要な箇所を精査し、その緊急性・費用対効果等を考慮しながら、年次的に農業基盤の整備を行う。</p> <p>・主な事業費の内訳</p> <table border="1"> <tr> <td>委託料</td> <td>34,206千円</td> </tr> <tr> <td>工事費</td> <td>306,258千円</td> </tr> <tr> <td>公有財産購入費</td> <td>47,978千円</td> </tr> </table>											委託料	34,206千円
委託料	34,206千円											
工事費	306,258千円											
公有財産購入費	47,978千円											

1 現状把握の部 (PLAN) (DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動)



27年度実績	28年度実施計画	29年度実施計画	30年度実施計画
農道・用排水路の適切な管理、地域整備を行う。(地区要望の受付、関係部局との調整、現地での状況確認、工法検討設計積算、住民との協議、調整、施工管理、検査、引受)	農道・用排水路の適切な管理、地域整備を行う。(地区要望の受付、関係部局との調整、現地での状況確認、工法検討設計積算、住民との協議、調整、施工管理、検査、引受)	農道・用排水路の適切な管理、地域整備を行う。(地区要望の受付、関係部局との調整、現地での状況確認、工法検討設計積算、住民との協議、調整、施工管理、検査、引受)	農道・用排水路の適切な管理、地域整備を行う。(地区要望の受付、関係部局との調整、現地での状況確認、工法検討設計積算、住民との協議、調整、施工管理、検査、引受)

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)

- ・対象地区住民
- ・関係地権者
- ・対象各団体

指標名(数字は記入しない) 単位

⑤ 活動指標 (事務事業の活動量を表す指標)	
ア 地区要望件数	回
⑥ 対象指標 (対象の大きさを表す指標)	
イ 整備延長	km
⑦ 成果指標 (事務事業の目的の達成度を表す指標)	
ウ 要望実施率	%
⑧ 施策の成果指標 (施策の目的の達成度を表す指標)	
エ 申告農家1戸当り農業収入	千円

③ 意図 (対象をどのような状態にしたいのか)

- ・畑に行きやすくなる。
- ・畑に使う水が確保できる。

④ 結果 (意図した結果、さらに何に反映させるか)

生産性が向上収益が増える。

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	25年度実績	26年度実績	27年度(実績・見込)	28年度(計画・目標)	29年度(計画・目標)	30年度(計画・目標)	補助事業名
投入量	事業費	国庫支出金	千円						県単特産物生産支援整備事業補助金
		県支出金	千円	27,215	33,852	22,500	25,000	20,000	
		地方債	千円	222,900	274,800	432,900	409,500	285,000	
		その他	千円						
		一般財源	千円	20,670	28,132	26,531	31,797	35,000	
	事業費計(A)	千円	270,785	336,784	481,931	466,297	340,000	340,000	
人件費	正規職員延従事人数	人	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	
	人件費計(B)	千円	13,270	13,720	13,720	13,720	13,720	13,720	
トータルコスト(A)+(B)		千円	284,055	350,504	495,651	480,017	353,720	353,720	
活動指標	ア	回	170	159	160	150	150	150	
対象指標	イ	km	311	312	313	314	315	316	
成果指標	ウ	%	31	38	38	38	38	38	
上位成果指標	エ	千円	3,900	3,900	3,900	3,900	3,900	3,900	

事務事業名	農業施設整備事業
-------	----------

## 2 評価の部 (CHECK) \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

妥当性評価	① 対象・意図の妥当性 * 対象・意図は実態と合っているか？上位施策から見てどうか？  <input type="checkbox"/> 見直し余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 対象・意図ともに実態と合っている	⇒【理由】 地区要望により農業基盤整備を計画的に実施することで使いやすい圃場にするため実態とあっている。
	② 成果の向上余地 * 事業の成果実績、水準は、あるべき水準と比べて差異はないか？  <input checked="" type="checkbox"/> 成果の実績はあるべき水準に達していない <input type="checkbox"/> 成果の実績はあるべき水準とほぼ同じである	⇒【理由】 限られた予算で執行しているため、全ての地区要望箇所に答えきれない。それ以外に順次補修の必要箇所が発生する。
有効性評価	③ 廃止、休止、活動量削減の成果への影響 * この事業を休廃止したら市民の立場から見ると具体的に何が困るか？また活動量削減の場合は？  <input type="checkbox"/> 特に影響はない <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり(多くの市民が困る・一部の市民が困る)	⇒【理由】 整備が途中で終わることとなり、対象地区の農業者や住民が困ることとなる。
	④ 事業費や人件費(延べ従事人数)の削減余地 * 成果を低下させずにコスト削減ができないか？活動量との関係で現状のコストは適切か？  <input type="checkbox"/> 事業費や人件費の削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	⇒【理由】 住民の要望に応えるため、現地で充分協議し最適な工法を検討し設計を行っている。そのため、事業費を削減することは難しい。

## 3 評価 (CHECK) 結果を踏まえた総括と今後の方向性 (ACTION) \* 1次評価者の評価結果を2次評価者が再評価

(1) 全体総括 (他自治体の取組状況等も踏まえた評価結果の振り返り、反省点)  <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎年、多くの地区要望が寄せられ各支所と協議して緊急性、重要性を考慮し順次工事施工を実施しているが、限られた予算での工事執行のため、地区要望に応えきれず積み残しの要望が多くある。年施工率20%前後。</li> <li>・なお、各行政区において要望の精査が出来れば、要望の件数が減るため効率的に事業が推進できると思われる。</li> </ul>																						
(2) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特段の改革を要しない)	(4) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上		○																			
	維持			×																		
	低下		×	×																		
(3) 改革、改善を実施する上で解決すべき課題(壁)の解決へ向けての取り組み <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎年多くの地区要望が寄せられ支所と協議し緊急性、重要性を考慮し順次工事施工を実施しているが、限られた予算での工事執行のため地区要望に応えきれず積み残しの要望が多くある。</li> <li>・なお、各行政区において要望の精査が出来れば、要望の件数が減るため効率的に事業が推進できると思われる。</li> <li>・多面的機能交付金事業での小規模な修繕等は可能なため、今後、地区に啓蒙して協力を仰ぐ。</li> <li>・県単独補助事業枠を多く確保できるよう働きかける。</li> </ul>																						

事務事業名	資源保全事業						所属部	産業観光部	所属課	農林土木課	
施策名	0	6	桃・ぶどう日本一を誇る魅力的で安定的な農林業づくり				所属担当	農林土木担当	課長名	内田 修	
法令根拠	土地改良法						個別計画				
予算科目	会計	款	項	目	細目	細々目	事業期間	単年度繰返(開始年度 H19年度～)			
	1	6	1	5	30	3					
○事務事業の概要および主な事業費の内訳											
・農地、農道、農業用水路等の農業生産基盤の資源を、将来にわたり適切に保全し質の向上を図るため、市内の14の活動組織が市と協定を結び、施設の保守等環境保全に取り組む。(多面的機能支払交付金)、活動面積 94000a 2,900円/10a等 ・農道や用水路などの農業施設の老朽化や小規模な災害に対応した緊急修理等も市が行っている。 ・主な事業費の内訳											
需用費	14,906千円	使用料									3,448千円
委託料	5,209千円	原材料									7,971千円
工事費	57,881千円	負担金補助									27,266千円

1 現状把握の部 (PLAN) (DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動)



27年度実績	28年度実施計画	29年度実施計画	30年度実施計画
<ul style="list-style-type: none"> <li>活動組織への指導、助言を行う。</li> <li>交付金の支払い。</li> <li>協定の締結</li> </ul>			

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)

- 活動組織への指導、助言を行う。
- 交付金の支払い。
- 協定の締結・農業施設

指標名(数字は記入しない) 単位

⑤ 活動指標 (事務事業の活動量を表す指標)	
ア 協議の回数	回
⑥ 対象指標 (対象の大きさを表す指標)	
イ 対象面積(農用地)	km <sup>2</sup>
⑦ 成果指標 (事務事業の目的の達成度を表す指標)	
ウ 整備が終わった地域の農用地面積	km <sup>2</sup>
⑧ 施策の成果指標 (施策の目的の達成度を表す指標)	
エ 農作物年間収穫量	t

③ 意図 (対象をどのような状態にしたいのか)

農地・農業用水路等の資源が、将来にわたって保全されるよう整備する。

④ 結果 (意図した結果、さらに何に反映させるか)

生産性が向上収益が増える。

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	25年度実績	26年度実績	27年度(実績・見込)	28年度(計画・目標)	29年度(計画・目標)	30年度(計画・目標)	補助事業名
投入量	事業費	国庫支出金	千円						多面的機能支払交付金
		県支出金	千円	135	200	20,450	20,950	20,000	
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	63,082	78,647	96,434	47,829	60,000	
	事業費計(A)	千円	63,217	78,847	116,884	68,779	80,000		
人件費	正規職員延従事人数	人	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30		
	人件費計(B)	千円	1,991	2,058	2,058	2,058	2,058		
トータルコスト(A)+(B)		千円	65,208	80,905	118,942	70,837	82,058		
活動指標	ア	回	14	14	14	14	14		
対象指標	イ	km <sup>2</sup>	16	16	16	16	16		
成果指標	ウ	km <sup>2</sup>	16	16	16	16	16		
上位成果指標	エ	t	47,000	47,000	47,000	47,000	47,000		

事務事業名	資源保全事業
-------	--------

## 2 評価の部 (CHECK) \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

妥当性評価	① 対象・意図の妥当性 * 対象・意図は実態と合っているか？上位施策から見てどうか？  <input type="checkbox"/> 見直し余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 対象・意図ともに実態と合っている	⇒【理由】 地区要望により修繕が必要な農業基盤施設を修理しているため実態とあっている。また、交付金事業は農村地域の農地保全が目的であるため。
	有効性評価	② 成果の向上余地 * 事業の成果実績、水準は、あるべき水準と比べて差異はないか？  <input type="checkbox"/> 成果の実績はあるべき水準に達していない <input checked="" type="checkbox"/> 成果の実績はあるべき水準とほぼ同じである
	③ 廃止、休止、活動量削減の成果への影響 * この事業を休廃止したら市民の立場から見ると具体的に何が困るか？また活動量削減の場合は？  <input type="checkbox"/> 特に影響はない <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり(多くの市民が困る・一部の市民が困る)	⇒【理由】 地区要望により修繕が必要な農業基盤施設を修理しているため無くなると影響がある。また、地元住民が農地の維持活動に必要な交付金であるため。
効率性評価	④ 事業費や人件費(延べ従事人数)の削減余地 * 成果を低下させずにコスト削減ができないか？活動量との関係で現状のコストは適切か？  <input type="checkbox"/> 事業費や人件費の削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	⇒【理由】 地元要望により必要な修理を緊急性の高い順に実施している。また交付金は国の事業のため、10a当りの交付金額が決まっているため、事業費は適切である。

## 3 評価 (CHECK) 結果を踏まえた総括と今後の方向性 (ACTION) \* 1次評価者の評価結果を2次評価者が再評価

(1) 全体総括 (他自治体の取組状況等も踏まえた評価結果の振り返り、反省点)  <ul style="list-style-type: none"> <li>・多面的機能支払交付金事業は、H27年度より交付金の流れが「国～県～推進協～保全会」が「国～県～市～保全会」となったため歳入、歳出ともに増加した。</li> <li>・地元要望の農業基盤施設修繕工事うち工事が必要な箇所が増加していることに対応したため工事費が増加した。</li> </ul>																						
(2) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特段の改革を要しない)	(4) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td>○</td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持	○		×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持	○		×																		
	低下		×	×																		
(3) 改革、改善を実施する上で解決すべき課題(壁)の解決へ向けての取り組み  交付金事業は19年度より実施され、事業内容の説明を行ってきたが、一部において理解されないところがあったため、29年度からの5年度間の新たな展開に充分取組めるようにする。地区要望の農業施設修繕に対応した必要な工事により、工事費が増加したが通常年の要望箇所対応割合が約3割から約4割に増加した。																						

事務事業名	林道維持管理費						所属部	産業観光部	所属課	農林土木課
施策名	0	6	桃・ぶどう日本一を誇れる魅力的で安定的な農林業づくり				所属担当	農林土木担当	課長名	内田 修
法令根拠	土地改良法						個別計画			
予算科目	会計	款	項	目	細目	細々目	事業期間	単年度繰返(開始年度 H16年度～)		
	1	6	2	2	50	1				
○事務事業の概要および主な事業費の内訳										
・市内林道の管理、補修業務及び治山工事にかかる事業を実施する。 ・主な事業費の内訳 需用費 1,322千円 委託料 1,782千円 使用料 870千円 工事費 43,340千円 原材料費 685千円										

1 現状把握の部 (PLAN) (DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動)



27年度実績	28年度実施計画	29年度実施計画	30年度実施計画
・説明会の開催及び契約内容の理解を求める ・林道補修	・林道補修	・林道補修	・林道補修

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)

林業家

指標名(数字は記入しない) 単位

⑤ 活動指標 (事務事業の活動量を表す指標)	
ア 区・関係地権者との調整・協議の回数	回
⑥ 対象指標 (対象の大きさを表す指標)	
イ 林業家	世帯数
⑦ 成果指標 (事務事業の目的の達成度を表す指標)	
ウ 整備延長	m
⑧ 施策の成果指標 (施策の目的の達成度を表す指標)	
エ 林業経営体	経営体

③ 意図 (対象をどのような状態にしたいのか)

森林施業が効率的にできるようになる。

④ 結果 (意図した結果、さらに何に反映させるか)

後継者や担い手を育成し、農林業を維持する。

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	25年度実績	26年度実績	27年度(実績・見込)	28年度(計画・目標)	29年度(計画・目標)	30年度(計画・目標)	補助事業名
投入量	事業費	国庫支出金	千円						
		県支出金	千円						
		地方債	千円	5,900	4,600	20,000	20,000		
		その他	千円						
		一般財源	千円	10,847	23,434	28,012	12,000	12,000	12,000
	事業費計 (A)	千円	16,747	28,034	48,012	32,000	12,000	12,000	
人件費	正規職員延従事人数	人	0.50	0.30	0.30	0.30	0.20	0.20	
	人件費計 (B)	千円	3,318	2,058	2,058	2,058	1,372	1,372	
トータルコスト(A)+(B)		千円	20,065	30,092	50,070	34,058	13,372	13,372	
活動指標	ア	回	6	6	6	6	5	5	
対象指標	イ	世帯数	281	281	281	281	281	281	
成果指標	ウ	m	475	453	200	200	50	50	
上位成果指標	エ	経営体	22	22	19	19	19	19	

事務事業名	林道維持管理費
-------	---------

## 2 評価の部 (CHECK) \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

妥当性評価	① 対象・意図の妥当性 * 対象・意図は実態と合っているか？上位施策から見てどうか？  <input type="checkbox"/> 見直し余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 対象・意図ともに実態と合っている	⇒【理由】 林道がある地域住民が対象となっているため、対象は実態と合っている。
	② 成果の向上余地 * 事業の成果実績、水準は、あるべき水準と比べて差異はないか？  <input type="checkbox"/> 成果の実績はあるべき水準に達していない <input checked="" type="checkbox"/> 成果の実績はあるべき水準とほぼ同じである	⇒【理由】 限られた予算で執行しているため、全ての地区要望箇所に答えきれない。それ以外に順次補修の必要箇所が発生する。
有効性評価	③ 廃止、休止、活動量削減の成果への影響 * この事業を休廃止したら市民の立場から見ると具体的に何が困るか？また活動量削減の場合は？  <input type="checkbox"/> 特に影響はない <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり(多くの市民が困る・一部の市民が困る)	⇒【理由】 今後も維持管理していく。
	④ 事業費や人件費(延べ従事人数)の削減余地 * 成果を低下させずにコスト削減ができないか？活動量との関係で現状のコストは適切か？  <input type="checkbox"/> 事業費や人件費の削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	⇒【理由】 すでに県営事業と連携を行っているため、これ以上の削減はない。

## 3 評価 (CHECK) 結果を踏まえた総括と今後の方向性 (ACTION) \* 1次評価者の評価結果を2次評価者が再評価

(1) 全体総括 (他自治体の取組状況等も踏まえた評価結果の振り返り、反省点)  <ul style="list-style-type: none"> <li>・林道及び森林環境、景観環境には、多くの市民や県外者の関心が高く、状況等の問い合わせが寄せられる。今後も適正な情報の発信を迅速に行えるようにしたい。</li> <li>・開設林道については、作業者等の高齢化及び環境問題等が今後検討課題である。</li> <li>・多くの地区要望が寄せられ該当支所と協議して緊急性、重要性を考慮しつつ順次工事施工を実施しているが、限られた予算での工事執行に限界がある。</li> <li>・今年度は林道の法面が大きく崩落した箇所があり修繕のため工事費が膨らんだ。</li> </ul>																						
(2) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特段の改革を要しない)	(4) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td>○</td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持	○		×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持	○		×																		
	低下		×	×																		
(3) 改革、改善を実施する上で解決すべき課題(壁)の解決へ向けての取り組み  <ul style="list-style-type: none"> <li>・多くの地区要望が寄せられ支所と協議し緊急性、重要性を考慮し順次工事施工を実施しているが、限られた予算での工事執行に限界があるため、更なる予算措置が必要である。</li> </ul>																						

事務事業名	労働総務事業						所属部	産業観光部	所属課	観光商工課
施策名	07 活力ある地域経済づくり						所属担当	商工労働担当	課長名	菱山 一
法令根拠							個別計画			
予算科目	会計	款	項	目	細目	細々目	事業期間	単年度繰返(開始年度 H21年度～)		
	1	5	1	1	10	1				
○事務事業の概要および主な事業費の内訳										
<p>◇市内企業の人材確保、就業支援対策として市が主体となつて、労働局、ハローワーク甲府、県労政雇用課の支援を受け、来春新規卒予定者及び未就職者、再就職者(1・Uターンを含む)を対象に、市内企業を募り就職ガイダンスを実施した。</p> <p>◇平成27年度の主な事業費(単位:千円)                  就職ガイダンス開催費用 643                  県職業能力開発協会負担金(法令外) 5</p>										

1 現状把握の部 (PLAN) (DO)

(1) 事務事業の目的と指標			
① 手段(主な活動)		← 実施計画期間 →	
27年度実績	28年度実施計画	29年度実施計画	30年度実施計画
求職者17名、求人企業19社、各種相談5団体の参加をいただき、スコレーセンターで就職ガイダンスを開催した。	平成27年度と同様に参加企業を募り就職ガイダンスを開催する。	参加企業を募り就職ガイダンスを開催する。	参加企業を募り就職ガイダンスを開催する。
② 対象 (誰、何を対象にしているのか)		指標名(数字は記入しない) 単位	
↓ 市内に本社・支社、事務所等をおく求人企業 学卒及び一般求職者		⑤ 活動指標 (事務事業の活動量を表す指標)	
		ア 目標参加企業数	社
③ 意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		⑥ 対象指標 (対象の大きさを表す指標)	
↓ 市内企業の人材確保 市民の就業確保		イ 求職者来場数	
		人	
④ 結果 (意図した結果、さらに何に反映させるか)		⑦ 成果指標 (事務事業の目的の達成度を表す指標)	
市内商工業の活性化		ウ 就職内定者	
		人	
		⑧ 施策の成果指標 (施策の目的の達成度を表す指標)	
		エ 法人税法人税割現年調停額	
		百万円	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	25年度 実績	26年度 実績	27年度 (実績・見込)	28年度 (計画・目標)	29年度 (計画・目標)	30年度 (計画・目標)	補助事業名
投入量	事業費 財源内訳	国庫支出金	千円						
		県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	618	639	648	675	675	675
	事業費計 (A)	千円	618	639	648	675	675	675	
人件費	正規職員延従事人数	人	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	
	人件費計 (B)	千円	1,327	1,372	1,372	1,372	1,372	1,372	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	1,945	2,011	2,020	2,047	2,047	2,047	
活動指標	ア	社	14	23	19	20	20	20	
対象指標	イ	人	26	35	17	100	100	100	
成果指標	ウ	人	1	3	1	10	10	10	
上位成果指標	エ	百万円	431	550	552	554	554	556	

事務事業名	労働総務事業
-------	--------

**2 評価の部 (CHECK) \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価**

妥当性評価	① 対象・意図の妥当性 * 対象・意図は実態と合っているか？上位施策から見てどうか？	⇒【理由】 企業及び求職者が減少傾向にあり、民間企業においてガイダンス事業を実施している。
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり <input type="checkbox"/> 対象・意図ともに実態と合っている	
有効性評価	② 成果の向上余地 * 事業の成果実績、水準は、あるべき水準と比べて差異はないか？	⇒【理由】 コスト、成果及び実情からも水準に達していない。求職者来場数が少ない。
	<input checked="" type="checkbox"/> 成果の実績はあるべき水準に達していない <input type="checkbox"/> 成果の実績はあるべき水準とほぼ同じである	
効率的性評価	③ 廃止、休止、活動量削減の成果への影響 * この事業を休廃止したら市民の立場から見ると具体的に何が困るか？また活動量削減の場合は？	⇒【理由】 民間企業において実施されており、求職者及び内定者の参加数からも、特に影響はないと考える。
	<input checked="" type="checkbox"/> 特に影響はない <input type="checkbox"/> 影響あり(多くの市民が困る・一部の市民が困る)	
効率的性評価	④ 事業費や人件費(延べ従事人数)の削減余地 * 成果を低下させずにコスト削減ができないか？活動量との関係で現状のコストは適切か？	⇒【理由】 民間企業において実施されているので、事業費の削減余地があると考える。
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費や人件費の削減余地がある <input type="checkbox"/> 適切である	

**3 評価 (CHECK) 結果を踏まえた総括と今後の方向性 (ACTION) \* 1次評価者の評価結果を2次評価者が再評価**

(1) 全体総括 (他自治体の取組状況等も踏まえた評価結果の振り返り、反省点)																						
<p>甲府市では、市役所内に就職相談窓口を常時開設している。南アルプス市では、年2回ガイダンスを開催し工業団地入居企業が多く参加している。本市では製造業が少なく観光や介護関係の求人が特徴となっている。しかし、求職者は製造業への意向が多く内定者は少ない。</p>																						
(2) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																					
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特段の改革を要しない)	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持	○			低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持	○																				
	低下																					
(3) 改革、改善を実施する上で解決すべき課題(壁)の解決へ向けての取り組み																						
<p>景気回復による求人及び求職意欲の向上を待つ。</p>																						

事務事業名	商工総務費						所属部	産業観光部	所属課	観光商工課
施策名	0	7	活力ある地域経済づくり				所属担当	商工労働担当	課長名	菱山 一
法令根拠							個別計画			
予算科目	会計	款	項	目	細目	細々目	事業期間	単年度繰返(開始年度 H22年度～)		
	1	7	1	1	20	1				
○事務事業の概要および主な事業費の内訳										
◇市長と「ものづくり企業」「経済懇話会」との意見交換会の開催 ◇平成27年度の主な事業費(単位:千円) 臨時職員賃金 884 需用費 156 企業調査委託料 147 意見交換会会場使用料 111										

(1) 事務事業の目的と指標			
① 手段(主な活動)		← 実施計画期間 →	
27年度実績	28年度実施計画	29年度実施計画	30年度実施計画
商工業の活性化を行うため意見交換会を3月23日に開催した。商工関係の臨時職員1名。企業誘致のための調査を行った。	平成27年度と同様に意見交換会を開催する。一店逸品創出事業への協力。	意見交換会を開催する。一店逸品創出事業への協力。	意見交換会を開催する。一店逸品創出事業への協力。
② 対象 (誰、何を対象にしているのか)		指標名(数字は記入しない) 単位	
市内ものづくり企業 (製造業者)		⑤ 活動指標 (事務事業の活動量を表す指標)	
		ア ものづくり企業数	社
③ 意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		⑥ 対象指標 (対象の大きさを表す指標)	
市内商工業の発展		イ 商工会会員数	人
④ 結果 (意図した結果、さらに何に反映させるか)		⑦ 成果指標 (事務事業の目的の達成度を表す指標)	
既存企業の安定した企業経営及び新たな企業の立地		ウ ものづくり企業意見交換会参加企業	社
		⑧ 施策の成果指標 (施策の目的の達成度を表す指標)	
		エ 市民税法人税割現年調定額	百万円

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	25年度実績	26年度実績	27年度(実績・見込)	28年度(計画・目標)	29年度(計画・目標)	30年度(計画・目標)	補助事業名
投入量	事業費	国庫支出金	千円						
		財源内訳	千円						
		県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
	一般財源	千円	618	1,275	1,298	1,360	1,360	1,360	
	事業費計 (A)	千円	618	1,275	1,298	1,360	1,360	1,360	
人件費	正規職員延従事人数	人	0.20	0.20	0.10	0.20	0.20	0.20	
	人件費計 (B)	千円	1,327	1,372	686	1,372	1,372	1,372	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	1,945	2,647	1,984	2,732	2,732	2,732	
	活動指標	ア 社	56	56	56	56	56	56	
	対象指標	イ 人	1,740	1,744	1,752	1,750	1,750	1,750	
	成果指標	ウ 社	27	24	23	20	20	20	
	上位成果指標	エ 百万円	431	550	552	554	554	556	

事務事業名	商工総務費
-------	-------

## 2 評価の部 (CHECK) \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

妥当性評価	① 対象・意図の妥当性 * 対象・意図は実態と合っているか？上位施策から見てどうか？	⇒【理由】 企業と行政が現状の課題や理想のまちづくりについての情報を共有する。
	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 対象・意図ともに実態と合っている	
有効性評価	② 成果の向上余地 * 事業の成果実績、水準は、あるべき水準と比べて差異はないか？	⇒【理由】 このような意見交換の場は他にないため有益である。
	<input type="checkbox"/> 成果の実績はあるべき水準に達していない <input checked="" type="checkbox"/> 成果の実績はあるべき水準とほぼ同じである	
効率性評価	③ 廃止、休止、活動量削減の成果への影響 * この事業を休廃止したら市民の立場から見ると具体的に何が困るか？また活動量削減の場合は？	⇒【理由】 このような意見交換の場は他にない。
	<input type="checkbox"/> 特に影響はない <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり(多くの市民が困る・一部の市民が困る)	
効率性評価	④ 事業費や人件費(延べ従事人数)の削減余地 * 成果を低下させずにコスト削減ができないか？活動量との関係で現状のコストは適切か？	⇒【理由】 最低限の範囲で実施している。
	<input type="checkbox"/> 事業費や人件費の削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	

## 3 評価 (CHECK) 結果を踏まえた総括と今後の方向性 (ACTION) \* 1次評価者の評価結果を2次評価者が再評価

(1) 全体総括 (他自治体の取組状況等も踏まえた評価結果の振り返り、反省点)																						
<p>市内企業が一堂に会する機会はこの意見交換会しかなく、参加企業からの意見・要望を聞き取るよい機会となっている。</p>																						
(2) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																					
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特段の改革を要しない)	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○	×																		
	低下		×	×																		
(3) 改革、改善を実施する上で解決すべき課題(壁)の解決へ向けての取り組み																						
<p>市内ものづくり企業の参加が少ないので、企業訪問等により意見聴取等を行い、交換会のあり方や組織化なども検討したい。</p>																						

事務事業名	企業立地促進助成金事業						所属部	産業観光部	所属課	観光商工課
施策名	0	7	活力ある地域経済づくり				所属担当	商工労働担当	課長名	菱山 一
法令根拠	笛吹市企業立地促進事業助成金交付要綱						個別計画			
予算科目	会計	款	項	目	細目	細々目	事業期間	期間限定(開始年度 H17年度～H29年度)		
	1	7	1	1	60	1				
○事務事業の概要および主な事業費の内訳										
<p>◇県の山梨県産業集積促進助成金交付要綱と連動した規定の笛吹市企業立地促進事業助成金交付要綱に基づき、条件を満たした企業に、規定の範囲内で助成金を交付する。</p> <p>◇平成27年度の主な事業費(単位:千円) 工場誘致奨励金 5,611</p>										

1 現状把握の部 (PLAN)(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動)

← 実施計画期間 →

27年度実績	28年度実施計画	29年度実施計画	30年度実施計画
企業等からの照会への対応。 企業訪問。 工場誘致奨励金交付事務。	立地希望企業の支援。 土地情報等の情報収集。 工場誘致奨励金交付事務。	立地希望企業の支援。 土地情報等の情報収集。 工場誘致奨励金交付事務。	立地希望企業の支援。 土地情報等の情報収集。 工場誘致奨励金交付事務。

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)

市内に立地を希望する優良企業

指標名(数字は記入しない) 単位

⑤ 活動指標 (事務事業の活動量を表す指標)	
ア 企業訪問	件
⑥ 対象指標 (対象の大きさを表す指標)	
イ 訪問企業数	件
⑦ 成果指標 (事務事業の目的の達成度を表す指標)	
ウ 農工団地への新規入居企業数	戸
⑧ 施策の成果指標 (施策の目的の達成度を表す指標)	
エ 農工団地入居企業数	戸

③ 意図 (対象をどのような状態にしたいのか)

市内に立地を希望する優良企業の誘致

④ 結果 (意図した結果、さらに何に反映させるか)

誘致企業の新規雇用者の採用

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	25年度実績	26年度実績	27年度(実績・見込)	28年度(計画・目標)	29年度(計画・目標)	30年度(計画・目標)	補助事業名
投入量	事業費	国庫支出金	千円						
		県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	2,527	2,283	5,611	3,062	2,500	
	事業費計(A)	千円	2,527	2,283	5,611	3,062	2,500	0	
人件費	正規職員延従事人数	人	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10		
	人件費計(B)	千円	664	686	686	686	686	0	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	3,191	2,969	6,297	3,748	3,186	0	
活動指標	ア	件	0	0	3	3	3		
対象指標	イ	件	0	0	1	2	2		
成果指標	ウ	戸	0	0	0	2	2		
上位成果指標	エ	戸	24	26	27	27	27		

事務事業名	企業立地促進助成金事業
-------	-------------

## 2 評価の部 (CHECK) \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

妥当性評価	① 対象・意図の妥当性 * 対象・意図は実態と合っているか？上位施策から見てどうか？	⇒【理由】 入居待ち状況が長いこと、税金・雇用面からも、更なる企業誘致の推進及び企業支援を行う必要がある。
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり <input type="checkbox"/> 対象・意図ともに実態と合っている	
有効性評価	② 成果の向上余地 * 事業の成果実績、水準は、あるべき水準と比べて差異はないか？	⇒【理由】 企業誘致が進まない。
	<input checked="" type="checkbox"/> 成果の実績はあるべき水準に達していない <input type="checkbox"/> 成果の実績はあるべき水準とほぼ同じである	
効率性評価	③ 廃止、休止、活動量削減の成果への影響 * この事業を休廃止したら市民の立場から見ると具体的に何が困るか？また活動量削減の場合は？	⇒【理由】 企業誘致を推進する施策が必要である。
	<input type="checkbox"/> 特に影響はない <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり(多くの市民が困る・一部の市民が困る)	
効率性評価	④ 事業費や人件費(延べ従事人数)の削減余地 * 成果を低下させずにコスト削減ができないか？活動量との関係で現状のコストは適切か？	⇒【理由】 要綱に則った経営支援である。
	<input type="checkbox"/> 事業費や人件費の削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	

## 3 評価 (CHECK) 結果を踏まえた総括と今後の方向性 (ACTION) \* 1次評価者の評価結果を2次評価者が再評価

(1) 全体総括 (他自治体の取組状況等も踏まえた評価結果の振り返り、反省点)																						
<p>募集しているのは、農工団地のため入居企業が限定され、企業誘致が進まない要因となっている。</p>																						
(2) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																					
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特段の改革を要しない)	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">X</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td style="text-align: center;">X</td> <td style="text-align: center;">X</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上	○			維持			X	低下		X	X
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上	○																				
	維持			X																		
	低下		X	X																		
(3) 改革、改善を実施する上で解決すべき課題(壁)の解決へ向けての取り組み																						
<p>新設及び増設企業に対して、他市より優位な支援措置を設けることで、本市への印象を強調し誘致を進めたい。</p>																						

事務事業名	小規模企業者小口資金融資促進費						所属部	産業観光部	所属課	観光商工課
施策名	07 活力ある地域経済づくり						所属担当	商工労働担当	課長名	菱山 一
法令根拠	笛吹市小規模企業者小口資金融資促進条例						個別計画			
予算科目	会計	款	項	目	細目	細々目	事業期間	単年度繰返(開始年度 H18年度～)		
	1	7	1	2	20	1				
○事務事業の概要および主な事業費の内訳										
<p>◇市内小規模事業者の経営の安定を図るために、事業資金の融資を斡旋する。この事業資金の借入に対して、利子補助、保証金補助を行う。小口資金融資審査委員会で審議の上、信用保証決定する。</p> <p>◇平成27年度の主な事業費(単位:千円)                  審査委員報酬 55千円・利子補助、保証料補助80千円</p>										

1 現状把握の部 (PLAN)(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動)



27年度実績	28年度実施計画	29年度実施計画	30年度実施計画
小口融資の申請が2件だった。	毎月の申請を受付、融資斡旋。広報紙やホームページ等により制度の利用促進を図る。	毎月の申請を受付、融資斡旋。広報紙やホームページ等により制度の利用促進を図る。	毎月の申請を受付、融資斡旋。広報紙やホームページ等により制度の利用促進を図る。

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)

市内小規模企業者

指標名(数字は記入しない) 単位

⑤ 活動指標 (事務事業の活動量を表す指標)	
ア 小口資金融資審査委員会の開催	回
⑥ 対象指標 (対象の大きさを表す指標)	
イ 融資件数	件
⑦ 成果指標 (事務事業の目的の達成度を表す指標)	
ウ 利子補助額	千円
⑧ 施策の成果指標 (施策の目的の達成度を表す指標)	
エ 市民税法人税割現年調定額	百万円

③ 意図 (対象をどのような状態にしたいのか)

市内小規模企業者の経営の安定及び育成、振興を図る。

④ 結果 (意図した結果、さらに何に反映させるか)

小規模企業者の安定した事業運営。

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	25年度実績	26年度実績	27年度(実績・見込)	28年度(計画・目標)	29年度(計画・目標)	30年度(計画・目標)	補助事業名
事業費 投入量	国庫支出金	千円							
	県支出金	千円							
	地方債	千円							
	その他	千円							
	一般財源	千円	171	137	135	1,959	1,959	1,959	
事業費計 (A)		千円	171	137	135	1,959	1,959	1,959	
人件費	正規職員延従事人数	人	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	
	人件費計 (B)	千円	664	686	686	686	686	686	
トータルコスト(A)+(B)		千円	835	823	821	2,645	2,645	2,645	
活動指標	ア	回	2	1	2	12	12	12	
対象指標	イ	件	1	1	2	5	5	5	
成果指標	ウ	千円	55	62	60	839	839	839	
上位成果指標	エ	百万円	431	550	552	554	556	558	

事務事業名	小規模企業者小口資金融資促進費
-------	-----------------

**2 評価の部 (CHECK) \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価**

妥当性評価	① 対象・意図の妥当性 * 対象・意図は実態と合っているか？上位施策から見てどうか？  <input type="checkbox"/> 見直し余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 対象・意図ともに実態と合っている	⇒【理由】 安定した企業運営が出来るように事業資金の融資を実施することにより、市内の産業振興に結びつく。
	有効性評価	② 成果の向上余地 * 事業の成果実績、水準は、あるべき水準と比べて差異はないか？  <input checked="" type="checkbox"/> 成果の実績はあるべき水準に達していない <input type="checkbox"/> 成果の実績はあるべき水準とほぼ同じである
効率性評価	③ 廃止、休止、活動量削減の成果への影響 * この事業を休廃止したら市民の立場から見ると具体的に何が困るか？また活動量削減の場合は？  <input type="checkbox"/> 特に影響はない <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり(多くの市民が困る・一部の市民が困る)	⇒【理由】 条例に則る支援であり、中小企業の経営安定化に寄与している。
	④ 事業費や人件費(延べ従事人数)の削減余地 * 成果を低下させずにコスト削減ができないか？活動量との関係で現状のコストは適切か？  <input type="checkbox"/> 事業費や人件費の削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	⇒【理由】 条例に則る支援であり、信用保証協会に預託する範囲内での融資制度である。

**3 評価 (CHECK) 結果を踏まえた総括と今後の方向性 (ACTION) \* 1次評価者の評価結果を2次評価者が再評価**

(1) 全体総括 (他自治体の取組状況等も踏まえた評価結果の振り返り、反省点)  住民税の所得割りが出ていてしかも市税完納という要件があるため、景気低迷の影響もあると思うが、新たに融資を受けようとするものは少ない。																						
(2) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特段の改革を要しない)	(4) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○	×																		
	低下		×	×																		
(3) 改革、改善を実施する上で解決すべき課題(壁)の解決へ向けての取り組み  小口審査委員会では、市独自の小額短期の融資制度の創設による利用向上が常に提議されるため、保証協会と協議しているが現状困難である。今後の全国的な動向もあるので協議を続ける。																						

事務事業名	緑化推進事業						所属部	産業観光部	所属課	農林振興課
施策名	1	2	憩いと癒しの空間づくり				所属担当	農林経営担当	課長名	雨宮 良秋
法令根拠							個別計画			
予算科目	会計	款	項	目	細目	細々目	事業期間	単年度繰返(開始年度 H17年度～)		
	1	6	2	2	40	1				
○事務事業の概要および主な事業費の内訳										
笛吹市緑化推進会議を中心に展開される植樹祭や市内緑化事業及び緑の少年少女隊育成事業を支援する。 緑の募金の実施 植樹祭の開催 緑の少年少女隊の育成支援 ◇平成27年度の主な事業費(単位:千円) ・委託料117・補助金763										

1 現状把握の部 (PLAN)(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動)



27年度実績	28年度実施計画	29年度実施計画	30年度実施計画
笛吹市緑化推進会議に対して補助金を支出することにより、緑化推進活動を支援する。	笛吹市緑化推進会議に対して補助金を支出することにより、緑化推進活動を支援する。	笛吹市緑化推進会議に対して補助金を支出することにより、緑化推進活動を支援する。	笛吹市緑化推進会議に対して補助金を支出することにより、緑化推進活動を支援する。

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)

市内各小学校、緑化団体

指標名(数字は記入しない) 単位

⑤ 活動指標 (事務事業の活動量を表す指標)

ア 公共施設の緑化箇所・緑の少年隊活動回数 箇所・回

③ 意図 (対象をどのような状態にしたいのか)

市内の緑化を推進する

⑥ 対象指標 (対象の大きさを表す指標)

イ 笛吹市緑化推進会議・植樹祭 回

④ 結果 (意図した結果、さらに何に反映させるか)

緑化推進により緑の大切さを啓発できる

⑦ 成果指標 (事務事業の目的の達成度を表す指標)

ウ 緑の募金実績 円

⑧ 施策の成果指標 (施策の目的の達成度を表す指標)

エ 笛吹市緑化推進活動参加団体数 団体

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	25年度実績	26年度実績	27年度(実績・見込)	28年度(計画・目標)	29年度(計画・目標)	30年度(計画・目標)	補助事業名
投入量	事業費	国庫支出金	千円						県自然環境保全地区管理委託金
		県支出金	千円	135	140	140	140	140	
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	695	779	861	1,770	861	
	事業費計(A)	千円	830	919	1,001	1,910	1,001	1,001	
人件費	正規職員延従事人数	人	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	
	人件費計(B)	千円	1,327	1,372	1,372	1,372	1,372	1,372	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	2,157	2,291	2,373	3,282	2,373	2,373	
	活動指標	ア 箇所・回	7	7	7	7	7	7	
	対象指標	イ 回	1	1	1	1	1	1	
	成果指標	ウ 円	2,290	2,153	2,327	2,327	2,300	2,300	
	上位成果指標	エ 団体	8	8	8	8	8	8	

事務事業名	緑化推進事業
-------	--------

**2 評価の部 (CHECK) \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価**

妥当性評価	① 対象・意図の妥当性 * 対象・意図は実態と合っているか？上位施策から見てどうか？  <input type="checkbox"/> 見直し余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 対象・意図ともに実態と合っている	⇒【理由】 緑化推進に係る各意識調査等により「緑を守る」旨の意識が醸成されると考えられる。
	② 成果の向上余地 * 事業の成果実績、水準は、あるべき水準と比べて差異はないか？  <input type="checkbox"/> 成果の実績はあるべき水準に達していない <input checked="" type="checkbox"/> 成果の実績はあるべき水準とほぼ同じである	⇒【理由】 当該事業が毎年実施され継続されることが「緑を守る」意識の醸成の一助となっていることから、削減等現時点では考えられない。
有効性評価	③ 廃止、休止、活動量削減の成果への影響 * この事業を休廃止したら市民の立場から見ると具体的に何が困るか？また活動量削減の場合は？  <input type="checkbox"/> 特に影響はない <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり(多くの市民が困る・一部の市民が困る)	⇒【理由】 緑化推進活動が、毎年開催され、継続することにより「緑を守る」意識が醸成される。
	④ 事業費や人件費(延べ従事人数)の削減余地 * 成果を低下させずにコスト削減ができないか？活動量との関係で現状のコストは適切か？  <input type="checkbox"/> 事業費や人件費の削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	⇒【理由】 事務量に対する成果を勘案すると現時点では「適切」である。

**3 評価 (CHECK) 結果を踏まえた総括と今後の方向性 (ACTION) \* 1次評価者の評価結果を2次評価者が再評価**

(1) 全体総括 (他自治体の取組状況等も踏まえた評価結果の振り返り、反省点)          <p>市内に合併前町村単位で組織された緑化推進会議により事業推進が図られている。 各地区での個々の活動を支援することにより市内全体に「緑を守る」意識が醸成される。</p>																						
(2) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可  <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特段の改革を要しない)	(4) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)  <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○	×																		
	低下		×	×																		
(3) 改革、改善を実施する上で解決すべき課題(壁)の解決へ向けての取り組み     <p>各団体等の活動が一般市民への意識だけでなく実行性へとつなげられるよう様々な機会を通じて広報、啓発を行っていく。</p>																						